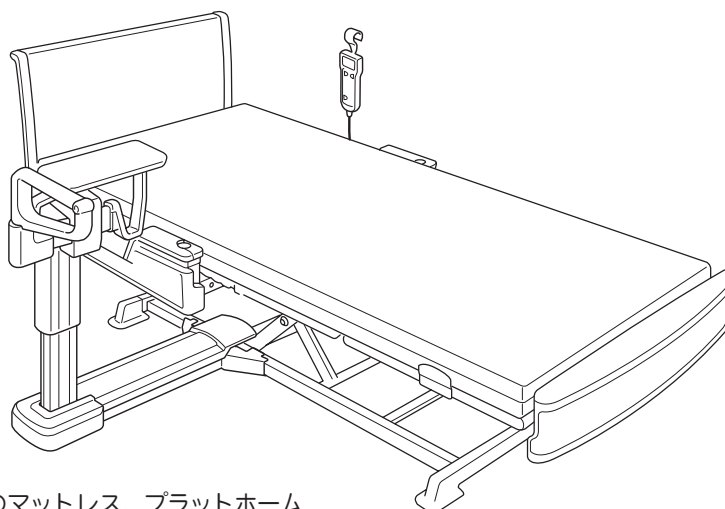
PARAMOUNT BED

取扱説明書　楽匠～自立促進シリーズ

7F05875100A3　保証書別添

※イラストは別売のマットレス、プラットホーム
などオプション類を取付けた状態です。

まえがき

このたびは、**楽匠～自立促進シリーズ** をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、ベッドを安全にお使いいただくための注意事項、組立・分解の方法や使用方法などを記載しています。

- **ベッドをお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。**
- ベッドで療養する方ばかりでなく、介護する方もこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- **この「取扱説明書」はお読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。**
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社まで、お問合せください。
- このベッドは日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

パラマウントベッド株式会社

もくじ／使用目的

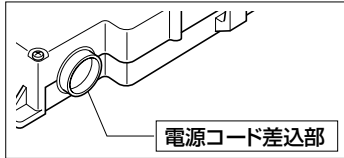
使用目的

■楽匠～自立促進シリーズは、ご家庭において、ご利用される方の起きあがり、立ちあがりを補助することを目的として作られたベッドです。
ご利用される方の状態に合わせて、様々なオプションを組み合わせて使用することができます。

起きあがりベッド　起きあがり動作を支援できるよう、背の角度が調節できるベッドです。

立ちあがりベッド　立ちあがり動作を支援できるよう、高さが調節できるベッドです。

1 主要部分のなまえ

このマークの数字は、
説明のあるページを示しています。
45～46ページ
背ボトム
電源コード
17～22、43ページ
手元スイッチ
頭 側
9、55ページ
オプション取付穴（大）
47ページ
足ボトム
足 側
49ページ
ヘッドボード
55ページ
オプション取付穴（小）
44ページ
キューマボトム
48ページ
マットレス止め（大）
55ページ
プラットホーム取付穴
49ページ
フットボード
33～36ページ
ベースフレーム
33ページ
脚座
48ページ
マットレス止め（小）
41ページ
コントロールボックス
■頭側から見た図
（頭側）
電源コード差込部
（足側）
アクチュエーターケーブルの
コネクター差込部
手元スイッチ差込部
コネクター

2 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の二つに区分しています。**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告（けいこく）	この表示を無視して誤った取扱いをすると、生命にかかわるけがを負う可能性が想定される内容を示しています。
注意（ちゅうい）	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人がけがを負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
〔絵表示の例〕 感電注意 分解不可 プラグを抜く	△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は「感電注意」）が描かれています。 ⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や回りに具体的な禁止内容（左図の場合は「分解禁止」）が描かれています。 ● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は使用者の行為の強制「電源プラグを抜く」）が描かれています。

※取扱説明書をお読みになった後は､お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

〔安全ラベルについて〕

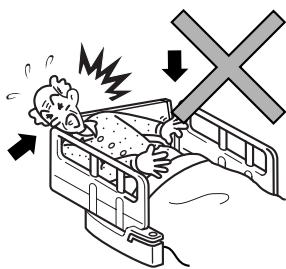
●注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてフットボードの内側とベースフレームの側面に貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。

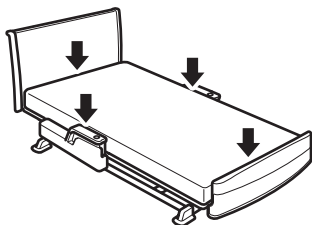
●安全ラベルが傷ついたり、はがれてしまった場合には販売店から新しい安全ラベルを取寄せ、貼り直してください。

起きあがりベッド

立ちあがりベッド

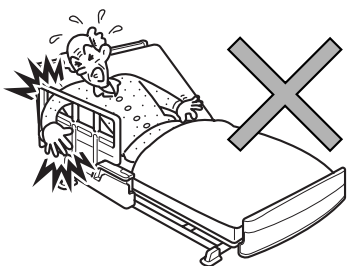
⚠ 警告

■サイドレールやサイドレールとボードなどのすき間(⬇)に身体の一部が入らないよう注意してください

●身体の一部がすき間に入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。

■ボトム周囲のすき間(⬇)に身体の一部が入らないよう注意してください

●身体の一部がすき間に入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。

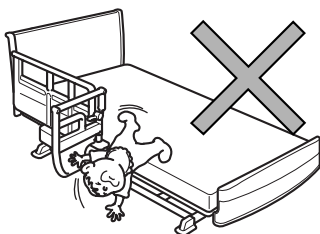
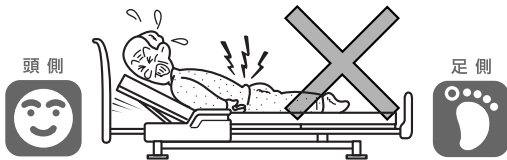
■サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください

●各オプションとサイドレールのすき間から落下したり、サイドレールの上から身をのり出して落下し、けがをするおそれがあります。

■ベッドの外に頭、手や足などを出さないでください

●ベッドの操作時に、操作した部分にはさまれてけがをするおそれがあります。

■乳幼児には使用しないでください

●ベッドから落下するおそれがあります。

⚠ 警告（けいこく）

■うつ伏せで寝た状態での角度調節は行わないでください（起きあがりベッド）

●関節を逆に曲げることになり、けがをするおそれがあります。

■ベッドは正しい向きで使用してください

●ベッドの頭側、足側を間違えて寝るとポジション操作の際、無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。

■ベースフレームに足をかけないでください

●ベースフレームに足をかけたり、足先を入れたりしないでください。はさまれてけがをするおそれがあります。

■12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方に操作させないでください

●12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方（認知症の方など）が一人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグを抜いたり、手元操作選択スイッチ（21ページ参照）で操作を禁止するなどして誤操作による事故を未然に防いでください。

●この手元操作を禁止させる機能は、リセットスイッチを押した場合、初期状態に戻り操作可能になりますのでご注意ください。

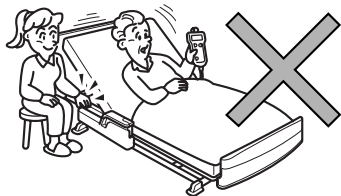
■ベッドの下に潜り込んだり、頭、手や足を入れないでください

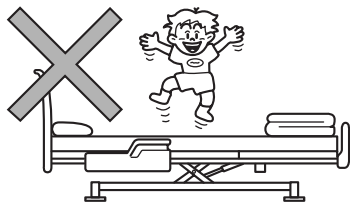
●ベッドの可動部分とフレームやサイドレールとの間にはさまれてけがをするおそれがあります。ベッド操作はベッドの周りに障害物がないことを確認して行ってください。

■掃除などベッドの下に入る際は電源プラグを抜いてください

●誤操作によりフレームにはさまれて、けがをするおそれがあります。

⚠ 警告

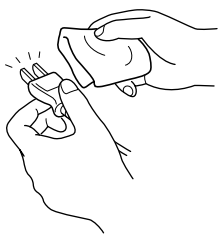
■電動操作中はベッドのフレームとボトムの間などに手（指）や足を入れないでください（起きあがりベッド）

●さがってきたボトムとベッドのフレームやボードなどの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

■ベッドの上で飛び跳ねないでください

●ベッドの上で飛び跳ねないでください。けがや故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

■電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください

感電注意

●ショートして感電・故障のおそれがあります。

■電源プラグにホコリを付着させないでください

●電源プラグの表面にホコリが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。
●電源プラグの表面にホコリが付着していると、水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、発火するおそれがあります。

■お客様による修理・改造はしないでください

分解不可

●異常動作して、けがをするおそれがあります。

■電源コード類をはさまないでください

●コードが傷むことで漏電し、感電するおそれがあります。
●傷んだコードは修理（交換）を依頼してください。

⚠ 警(けい) 告(こく)

■電子治療器を使用するときは必ず電源プラグを抜いてください

●電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器等）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。

●なお、他の医用電気機器と併用する際は、安全をご確認の上ご使用ください。

■踏み台がわりにしないでください

●ベッドから落下、転倒してけがをするおそれがあります。

⚠ 注(ちゅう) 意(い)

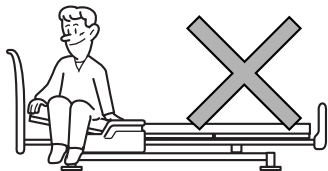
■2人以上で使用しないでください

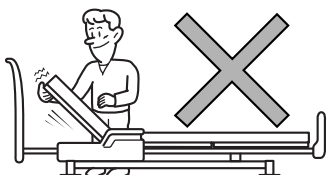
●このベッドは1人用の設計になっています。2人以上で使用しないでください。一時的に、介助者がベッドにのる必要がある場合は、つぎの点を確かめてください。

○ベッドにかかる荷重が最大使用者体重（135kg）をこえていないこと

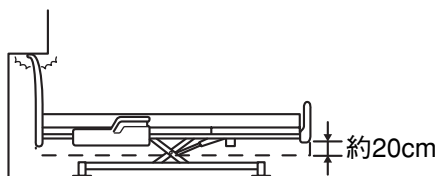
○ボトムがさがって平らになっていること

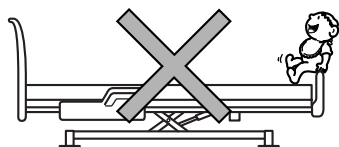
●介助者がベッドにのる機会の多い場合は、必ずベッドの定期点検を受けてください。

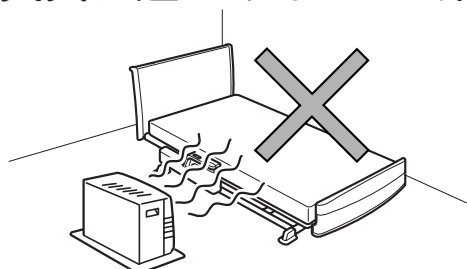
■あがっているボトムに乗らないでください（起きあがりベッド）

●ボトムの支持部に大きな力がかかり、変形、破損の原因となります。

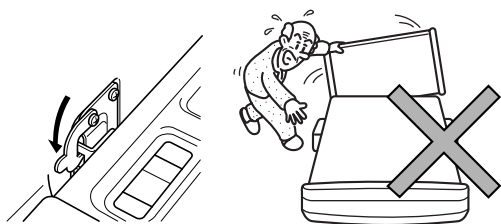
■ボトムを持ちあげないでください

●ベッドの変形、破損の原因となります。

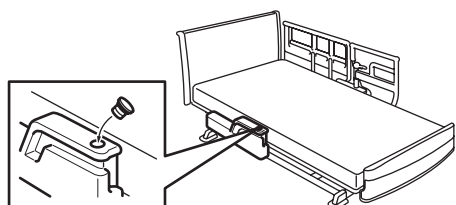
⚠ 注(ちゅう) 意(い)

■高さ調節のとき、壁や梁に気をつけてください(立ちあがりベッド)

●ベッドは高さ調節操作で、上下に約20cm動きます。ご使用の際には、この高さ調節でベッドが壁や梁にあたらないことをご確認ください。

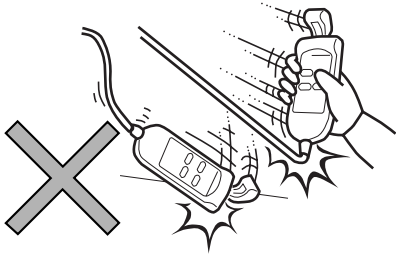
■サイドレールやヘッドボード・フットボードに腰掛けたりしないでください

●ベッドから落下・転倒してけがをしたり、ベッドが破損・変形してけがをするおそれがあります。

■火気に近づけないでください

●ベッドの近くでの、ストーブなど熱器具の使用は避けてください。変質、変形、発火等の原因となります。

■ヘッド・フットボードは必ずストッパーをかけてください

●ボードの取付けが不完全な場合、体を支えるためボードにつかまったときなどに、不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。

■オプション取付穴(大)を使用しない場合は、必ずキャップを取付けてください

●キャップを取付けないと、指などを入れた場合にけがをするおそれがあります。

⚠注意(ちゅうい)

■手元スイッチを傷つけないでください

●ショートによる誤動作のおそれがあります。

●傷んだ手元スイッチは修理を依頼してください。

■スプレータイプの殺虫剤をベッドに直接噴射しないでください

●殺虫剤に含まれる溶剤によってベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

■被災したベッドは販売店に点検・修理をご依頼ください

●地震・火事・水害等で被災したベッドは、電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によってけがをするおそれがあります。

■治療中の方は医師に相談をしてください

●現在治療中の方は、ベッドの操作が症状を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際して不安や疑問があるときは、かかりつけの医師にご相談ください。

■指定以外の製品とは組合わせないでください

●指定以外の製品と組合わせるとベッドに負担をかけ、けがや故障の原因となります。

■電源プラグを持って抜いてください

●コンセントから抜く際、電源コードのみを持って引き抜くとコードが傷んで感電するおそれがあります。

■ベッド操作時は周囲を確認してください

●ポジション操作によって周囲の物を破損させたり、ベッドを破損・変形させる原因となります。

あたま　起きあがりベッド　**手元スイッチ：「液晶タイプ」**

ベッド本体	91幅ミニ	型　番	KQ-70200	KQ-70210	KQ-70220	KQ-70230	KQ-70240	KQ-70250
		全幅×全長(cm)	110.1×200.7	110.1×202.9	110.1×201.3	110.1×204	110.1×201.3	110.1×204
		製品質量(kg)	約76.5	約78.5	約77	約80	約77	約80
	91幅レギュラー	型　番	KQ-70300	KQ-70310	KQ-70320	KQ-70330	KQ-70340	KQ-70350
		全幅×全長(cm)	110.1×211.7	110.1×213.9	110.1×212.3	110.1×215	110.1×212.3	110.1×215
		製品質量(kg)	約77.5	約79.5	約78	約81	約78	約81
	91幅ロング	型　番	KQ-70B00	KQ-70B10	KQ-70B20	KQ-70B30	KQ-70B40	KQ-70B50
		全幅×全長(cm)	110.1×225.7	110.1×227.9	110.1×226.3	110.1×229	110.1×226.3	110.1×229
		製品質量(kg)	約78.5	約80.5	約79.5	約82	約79.5	約82
	100幅ミニ	型　番	KQ-70400	KQ-70410	KQ-70420	KQ-70430	KQ-70440	KQ-70450
		全幅×全長(cm)	119.1×200.7	119.1×202.9	119.1×201.3	119.1×204	119.1×201.3	119.1×204
		製品質量(kg)	約78.5	約80.5	約79	約82.5	約79	約82.5
	100幅レギュラー	型　番	KQ-70500	KQ-70510	KQ-70520	KQ-70530	KQ-70540	KQ-70550
		全幅×全長(cm)	119.1×211.7	119.1×213.9	119.1×212.3	119.1×215	119.1×212.3	119.1×215
		製品質量(kg)	約79.5	約81.5	約80.5	約83.5	約80.5	約83.5
	100幅ロング	型　番	KQ-70C00	KQ-70C10	KQ-70C20	KQ-70C30	KQ-70C40	KQ-70C50
		全幅×全長(cm)	119.1×225.7	119.1×227.9	119.1×226.3	119.1×229	119.1×226.3	119.1×229
		製品質量(kg)	約81	約83	約81.5	約85	約81.5	約85
	床高（cm）		23、27、31（3段切り替え)（ゆかからボトム面まで）					
	モーター数		1モーター					
	手元スイッチ		液晶タイプ3ボタン					
	主な材質	ボード　ヘッドボード	ポリプロピレン（PP）		ABS木目シート（ライト）		ABS木目シート（ダーク）	
		ボード　フットボード	ポリプロピレン（PP）		PP木目シート（ライト）	ABS木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	ABS木目シート（ダーク）
		アクセサリー枠　本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)					
		アクセサリー枠　オプション受カバー	ポリプロピレン（PP）		PP木目シート（ライト）		PP木目シート（ダーク）	
		リトラフレーム	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ(一部樹脂成形品)					
		ボトム						
		ベースフレーム						
	最大使用者体重		135kg					
	安全使用荷重※		1700N(約174kgf)					
	動作保証条件	温　度	10℃～40℃					
		湿　度	30～75％RH					

背あげ	傾斜角度		0～約65°
	背あげ用アクチュエーター	電　　源	AC100V、50／60Hz
		消費電力	140W以下
		昇降時間	約30秒（普通）／約20秒（速い）
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

※安全使用荷重：使用者体重とマットレス、サイドレール等の付帯物の合計荷重。

あたま

起きあがりベッド　手元スイッチ：「LEDタイプ」

ベッド本体							
91幅 ミニ	型　番	KQ-7A200	KQ-7A210	KQ-7A220	KQ-7A230	KQ-7A240	KQ-7A250
	全幅×全長(cm)	110.1×200.7	110.1×202.9	110.1×201.3	110.1×204	110.1×201.3	110.1×204
	製品質量(kg)	約76.5	約78.5	約77	約80	約77	約80
91幅 レギュラー	型　番	KQ-7A300	KQ-7A310	KQ-7A320	KQ-7A330	KQ-7A340	KQ-7A350
	全幅×全長(cm)	110.1×211.7	110.1×213.9	110.1×212.3	110.1×215	110.1×212.3	110.1×215
	製品質量(kg)	約77.5	約79.5	約78	約81	約78	約81
91幅 ロング	型　番	KQ-7AB00	KQ-7AB10	KQ-7AB20	KQ-7AB30	KQ-7AB40	KQ-7AB50
	全幅×全長(cm)	110.1×225.7	110.1×227.9	110.1×226.3	110.1×229	110.1×226.3	110.1×229
	製品質量(kg)	約78.5	約80.5	約79.5	約82	約79.5	約82
100幅 ミニ	型　番	KQ-7A400	KQ-7A410	KQ-7A420	KQ-7A430	KQ-7A440	KQ-7A450
	全幅×全長(cm)	119.1×200.7	119.1×202.9	119.1×201.3	119.1×204	119.1×201.3	119.1×204
	製品質量(kg)	約78.5	約80.5	約79	約82.5	約79	約82.5
100幅 レギュラー	型　番	KQ-7A500	KQ-7A510	KQ-7A520	KQ-7A530	KQ-7A540	KQ-7A550
	全幅×全長(cm)	119.1×211.7	119.1×213.9	119.1×212.3	119.1×215	119.1×212.3	119.1×215
	製品質量(kg)	約79.5	約81.5	約80.5	約83.5	約80.5	約83.5
100幅 ロング	型　番	KQ-7AC00	KQ-7AC10	KQ-7AC20	KQ-7AC30	KQ-7AC40	KQ-7AC50
	全幅×全長(cm)	119.1×225.7	119.1×227.9	119.1×226.3	119.1×229	119.1×226.3	119.1×229
	製品質量(kg)	約81	約83	約81.5	約85	約81.5	約85

項目			仕様			
床高（cm）			23、27、31（3段切り替え）（ゆかからボトム面まで）			
モーター数			1モーター			
手元スイッチ			LEDタイプ2ボタン			
主な材質	ボード	ヘッドボード	ポリプロピレン（PP）	ABS木目シート（ライト）		ABS木目シート（ダーク）
		フットボード		PP木目シート（ライト）	ABS木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク） / ABS木目シート（ダーク）
	アクセサリー枠	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）			
		オプション受カバー	ポリプロピレン（PP）	PP木目シート（ライト）		PP木目シート（ダーク）
	リトラフレーム		スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）			
	ボトム					
	ベースフレーム					
最大使用者体重			135kg			
安全使用荷重※			1700N（約174kgf）			
動作保証条件	温　度		10℃～40℃			
	湿　度		30～75％RH			

背あげ		
傾斜角度		0～約65°
背あげ用アクチュエーター	電　　源	AC100V、50／60Hz
	消費電力	140W以下
	昇降時間	約30秒（普通）／約20秒（速い）
	連続使用時間	約5分
	モーター形式	DCモーター

※安全使用荷重：使用者体重とマットレス、サイドレール等の付帯物の合計荷重。

たかさ　立ちあがりベッド　手元スイッチ：「液晶タイプ」

区分	サイズ	項目						
ベッド本体	91幅 ミニ	型　番	KQ-71200	KQ-71210	KQ-71220	KQ-71230	KQ-71240	KQ-71250
		全幅×全長(cm)	110.1×200.7	110.1×202.9	110.1×201.3	110.1×204	110.1×201.3	110.1×204
		製品質量(kg)	約76	約78	約76.5	約79.5	約76.5	約79.5
	91幅 レギュラー	型　番	KQ-71300	KQ-71310	KQ-71320	KQ-71330	KQ-71340	KQ-71350
		全幅×全長(cm)	110.1×211.7	110.1×213.9	110.1×212.3	110.1×215	110.1×212.3	110.1×215
		製品質量(kg)	約77	約79	約78	約80.5	約78	約80.5
	91幅 ロング	型　番	KQ-71B00	KQ-71B10	KQ-71B20	KQ-71B30	KQ-71B40	KQ-71B50
		全幅×全長(cm)	110.1×225.7	110.1×227.9	110.1×226.3	110.1×229	110.1×226.3	110.1×229
		製品質量(kg)	約78.5	約80.5	約79	約82	約79	約82
	100幅 ミニ	型　番	KQ-71400	KQ-71410	KQ-71420	KQ-71430	KQ-71440	KQ-71450
		全幅×全長(cm)	119.1×200.7	119.1×202.9	119.1×201.3	119.1×204	119.1×201.3	119.1×204
		製品質量(kg)	約77.5	約80	約78.5	約81.5	約78.5	約81.5
	100幅 レギュラー	型　番	KQ-71500	KQ-71510	KQ-71520	KQ-71530	KQ-71540	KQ-71550
		全幅×全長(cm)	119.1×211.7	119.1×213.9	119.1×212.3	119.1×215	119.1×212.3	119.1×215
		製品質量(kg)	約79	約81	約80	約83	約80	約83
	100幅 ロング	型　番	KQ-71C00	KQ-71C10	KQ-71C20	KQ-71C30	KQ-71C40	KQ-71C50
		全幅×全長(cm)	119.1×225.7	119.1×227.9	119.1×226.3	119.1×229	119.1×226.3	119.1×229
		製品質量(kg)	約80.5	約82.5	約81.5	約84.5	約81.5	約84.5
	床高（cm）		23～43（ゆかからボトム面まで）					
	モーター数		1モーター					
	手元スイッチ		液晶タイプ3ボタン					
	主な材質 ボード	ヘッドボード	ポリプロピレン（PP）		ABS木目シート（ライト）		ABS木目シート（ダーク）	
		フットボード			PP木目シート（ライト）	ABS木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	ABS木目シート（ダーク）
	アクセサリー枠	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
		オプション受カバー	ポリプロピレン（PP）		PP木目シート（ライト）		PP木目シート（ダーク）	
	ボトム		スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
	駆動部							
	ベースフレーム							
	最大使用者体重		135kg					
	安全使用荷重※		1700N（約174kgf）					
	動作保証条件	温　度	10℃～40℃					
		湿　度	30～75％RH					

区分	項目		仕様
高さ調節	調節量		約20cm
	ハイロー用アクチュエーター	電　源	AC100V、50／60Hz
		消費電力	150W以下
		昇降時間	約25秒
		連続使用時間	約5分
		モーター形式	DCモーター

※安全使用荷重：使用者体重とマットレス、サイドレール等の付帯物の合計荷重。

たかさ

立ちあがりベッド　手元スイッチ：「LEDタイプ」

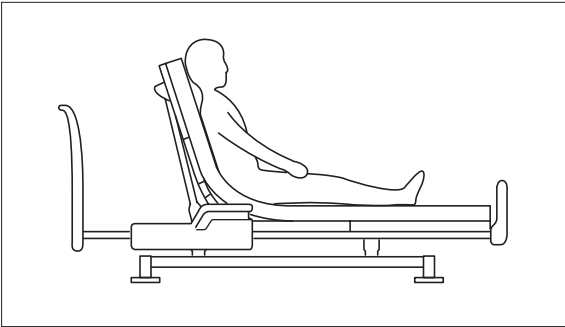
ベッド本体								
91幅 ミニ	型　番		KQ-7B200	KQ-7B210	KQ-7B220	KQ-7B230	KQ-7B240	KQ-7B250
	全幅×全長(cm)		110.1×200.7	110.1×202.9	110.1×201.3	110.1×204	110.1×201.3	110.1×204
	製品質量(kg)		約76	約78	約76.5	約79.5	約76.5	約79.5
91幅 レギュラー	型　番		KQ-7B300	KQ-7B310	KQ-7B320	KQ-7B330	KQ-7B340	KQ-7B350
	全幅×全長(cm)		110.1×211.7	110.1×213.9	110.1×212.3	110.1×215	110.1×212.3	110.1×215
	製品質量(kg)		約77	約79	約78	約80.5	約78	約80.5
91幅 ロング	型　番		KQ-7BB00	KQ-7BB10	KQ-7BB20	KQ-7BB30	KQ-7BB40	KQ-7BB50
	全幅×全長(cm)		110.1×225.7	110.1×227.9	110.1×226.3	110.1×229	110.1×226.3	110.1×229
	製品質量(kg)		約78.5	約80.5	約79	約82	約79	約82
100幅 ミニ	型　番		KQ-7B400	KQ-7B410	KQ-7B420	KQ-7B430	KQ-7B440	KQ-7B450
	全幅×全長(cm)		119.1×200.7	119.1×202.9	119.1×201.3	119.1×204	119.1×201.3	119.1×204
	製品質量(kg)		約77.5	約80	約78.5	約81.5	約78.5	約81.5
100幅 レギュラー	型　番		KQ-7B500	KQ-7B510	KQ-7B520	KQ-7B530	KQ-7B540	KQ-7B550
	全幅×全長(cm)		119.1×211.7	119.1×213.9	119.1×212.3	119.1×215	119.1×212.3	119.1×215
	製品質量(kg)		約79	約81	約80	約83	約80	約83
100幅 ロング	型　番		KQ-7BC00	KQ-7BC10	KQ-7BC20	KQ-7BC30	KQ-7BC40	KQ-7BC50
	全幅×全長(cm)		119.1×225.7	119.1×227.9	119.1×226.3	119.1×229	119.1×226.3	119.1×229
	製品質量(kg)		約80.5	約82.5	約81.5	約84.5	約81.5	約84.5
床高（cm）			23～43（ゆかからボトム面まで）					
モーター数			1モーター					
手元スイッチ			LEDタイプ2ボタン					
主な材質	ボード	ヘッドボード	ポリプロピレン（PP）		ABS木目シート（ライト）		ABS木目シート（ダーク）	
		フットボード	ポリプロピレン（PP）		PP木目シート（ライト）	ABS木目シート（ライト）	PP木目シート（ダーク）	ABS木目シート（ダーク）
	アクセサリー枠	本体	スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
		オプション受カバー	ポリプロピレン（PP）		PP木目シート（ライト）		PP木目シート（ダーク）	
	ボトム		スチール製…電着・粉体塗装仕上げ（一部樹脂成形品）					
	駆動部							
	ベースフレーム							
最大使用者体重			135kg					
安全使用荷重※			1700N（約174kgf）					
動作保証条件	温　度		10℃～40℃					
	湿　度		30～75%RH					

高さ調節		
調節量		約20cm
ハイロー用アクチュエーター	電　源	AC100V、50／60Hz
	消費電力	150W以下
	昇降時間	約25秒
	連続使用時間	約5分
	モーター形式	DCモーター

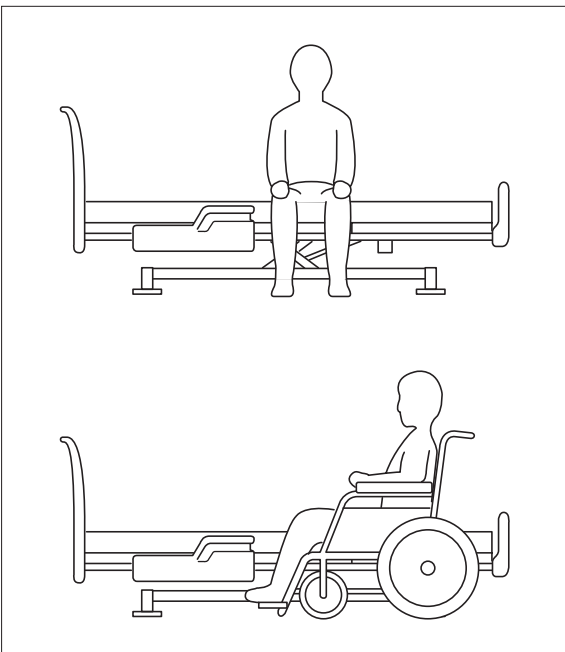
※安全使用荷重：使用者体重とマットレス、サイドレール等の付帯物の合計荷重。

■動きを理解していただくために、サイドレールなどを取外した状態で描いてあります。

起きあがりベッド

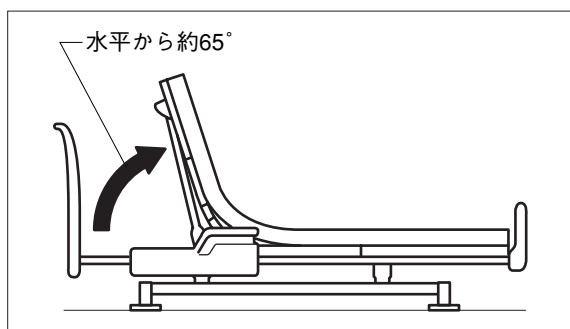
背あげ

●ベッドからの起きあがりに役立ちます。

立ちあがりベッド

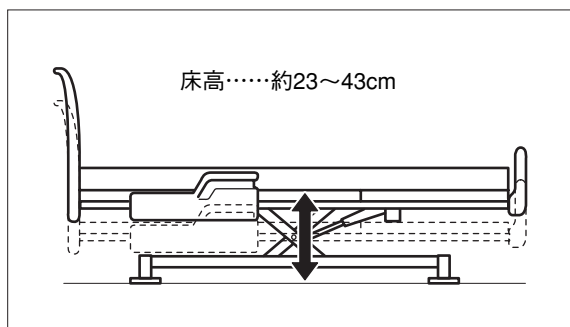
高さ調節

●座ってかかとが着く位の高さに調節すると、ベッドから立ちあがりやすくなります。
●車椅子の座面の高さにベッドの高さを合わせると、移乗が楽に行えます。

■ベッドの背ボトムの角度やベッド全体の高さを、電動操作で無段階に調節できます。手元スイッチのボタンを押すと動き、はなすとその位置で止まります。必要な位置まで動かして、ベッドをお使いください。

起きあがりベッド

背あげ

●背ボトムの角度を調節できます。
ベッドの背もたれ部分が、水平から約65°まで調節できます。

立ちあがりベッド

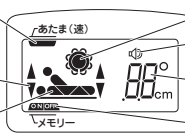
高さ調節

●ベッドの高さを調節できます。ゆかからボトム面までの高さを、約23cmから約43cmまで調節できます。

液晶タイプ

■手元スイッチ操作によって、ベッドの背ボトムの角度、ベッド全体の高さを無段階に調節できます。

●12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方(認知症の方など)が一人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグを抜いたり、手元操作選択スイッチ(21ページ参照)で操作を禁止するなどして誤操作による事故を未然に防いでください。

液晶表示パネル(18ページ参照)

あたま動作速度表示(普通・速い)
※立ちあがりベッドでは表示されません。
動作方向表示(あがる・さがる)
動作部位表示
設定完了表示
操作音(入・切)
角度または高さを表示
メモリーボタンによる一旦停止機能の有無を表示

電源ランプ

点　　灯：●正常な通電状態です。
点灯せず：●電源プラグあるいは手元スイッチコネクターが外れているか、停電などの場合です。
点　　滅：●障害物との干渉などの異常を表示しています。

操作選択ランプ(21ページ参照)

点　　灯：●点灯している個所の操作が可能です。
点灯せず：●点灯していない個所の操作が禁止になっています。
点　　滅：●裏面の手元操作選択スイッチを押したときに点滅します。

リミッター(メモリーボタン)(19ページ参照)

ベッドのあたま・たかさの各動作が一旦停止する位置を設定できます。
※一旦停止後にボタンをはなし、再度「あたま」「たかさ」ボタンを押し続けると動き、はなすとその位置で止まります。

操作ボタン

操作方法：ボタンを押し続けると動き、はなすと止まります。

起きあがりベッド

あたま：背のあげさげボタン
●背ボトムの角度調節ができます。

立ちあがりベッド

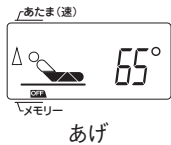
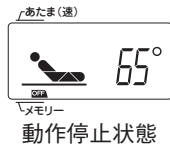
たかさ：ベッドのあげさげボタン
●ベッドの高さ調節ができます。

●液晶表示パネルは、操作後約20秒経過すると表示内容が自動的に消えます。
●操作していないのに電源ランプが点滅するときは、何らかの異常があるときです。59ページを参考に確認を行ってください。
●2つ以上のボタンを同時に押した場合、安全のため誤操作とみなし動きません。

■液晶表示パネルについて

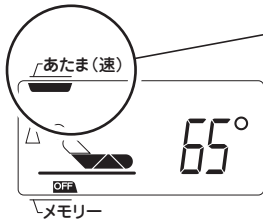
●ベッドの動作状態は、液晶表示で確認することができます。

●動作中は白抜きの個所が点滅表示されます。

起きあがりベッド

あげ

動作停止状態

さげ

●背動作角度が2°ごとに表示されます。

■背ボトムの速さ切替

●裏面スイッチを「速い」に設定している場合は、「▬」が表示されます。
（設定方法は21ページ参照）

立ちあがりベッド

あげ

動作停止状態

さげ

●高さが2cmごとに表示されます。

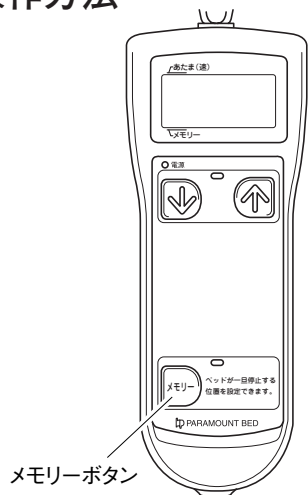
●表示される数値（角度・高さ）は、目安としてください。

●起きあがりベッドの場合、0°～約4°の範囲にある場合は「 -- 」が表示されます。

●数値表示部に「 H4 」などの記号が現れた場合はエラーコードを表示しています。
59ページを参考に、確認を行ってください。

■メモリーボタンについて（液晶タイプのみ）

メモリーボタンを操作することで、ベッドのあたま・たかさの各動作が一旦停止する位置を設定できます。

操作方法

メモリーボタン

❶メモリーボタンを2秒以上押してください。

- 「ピー」という操作音が鳴り、一旦停止する位置を設定できる状態（設定モード）になります。
- 液晶表示パネル中の動作部位表示、メモリー（ON／OFF）が点滅します。
- 設定部位の現在の設定値が表示されます。初期値（あたま：65°、たかさ：43cm）の場合は点滅、初期値以外の場合は点灯します。

---

❷設定する個所（「あたま」・「たかさ」）のあげさげボタンを押し、一旦停止させる角度または高さを設定してください。

●30秒間、何も操作が行われない場合、設定モードが解除されます。

●設定モードが解除された場合、設定途中の値は無効になります。

●裏面スイッチの設定内容も含め初期値に戻す場合は、リセットスイッチを押してください。（21ページ参照）

あたまの一旦停止位置設定

●4～60°の範囲で、4°ごとに背動作角度を設定できます。

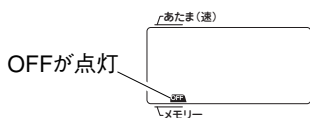
●初期値は65°に設定されています。

たかさの一旦停止位置設定

●26～40cmの範囲で、2cmごとに高さを設定できます。

●初期値は43cmに設定されています。

設定完了時

あたま（速）

メモリー

❸メモリーボタンを押すと、設定が完了します。このとき、「ピー」という操作音が鳴り、花マークが点灯します。

初期値以外の値が設定されている状態

- 初期値以外の値が設定された場合、花マークが消灯後、メモリーのONが点灯します。

初期値が設定されている状態

- 初期値が設定された場合、花マークが消灯後、メモリーのOFFが点灯します。

LEDタイプ

■手元スイッチ操作によって、ベッドの背ボトムの角度、ベッド全体の高さを無段階に調節できます。

●12歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方（認知症の方など）が一人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグを抜いたり、手元操作選択スイッチ（21ページ参照）で操作を禁止するなどして誤操作による事故を未然に防いでください。

選択された項目が点灯します。

電源ランプ

点　　灯：●正常な通電状態です。

点灯せず：●電源プラグあるいは手元スイッチコネクターが外れているか、停電などの場合です。

点　　滅：●障害物との干渉などの異常を表示しています。

操作選択ランプ（21ページ参照）

点　　灯：●操作が可能です。

点灯せず：●操作が禁止になっています。

点　　滅：●裏面の手元操作選択スイッチを押したときに点滅します。

操作ボタン

操作方法：ボタンを押し続けると動き、はなすと止まります。

起きあがりベッド

あたま：背のあげさげボタン

●背ボトムの角度調節ができます。

立ちあがりベッド

たかさ：ベッドのあげさげボタン

●ベッドの高さ調節ができます。

●操作していないのに電源ランプが点滅するときは、何らかの異常があるときです。59ページを参考に確認を行ってください。

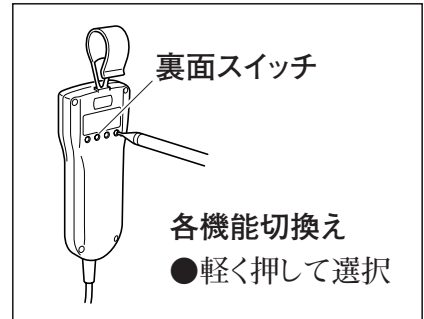
●2つのボタンを同時に押した場合、安全のため誤操作とみなし動きません。

6 手元スイッチの使いかた

裏面スイッチ

■手元スイッチ裏面にある各スイッチで、下記の機能切換え及びリセットを行うことができます。

起きあがりベッド

立ちあがりベッド

手元操作選択

●手元スイッチによるベッド操作の可能・禁止を動作個所ごとに交互に切換えることができます。

あたま速度 普通／速い

●背ボトムをあげさげする速さ（普通・速い）を交互に切換えることができます。
（起きあがりベッドのみ）

操作音 入／切

●手元スイッチ操作時の操作音（入・切）を交互に切換えることができます。

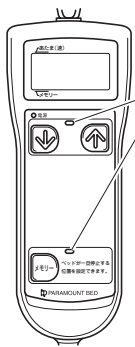
リセット

●オモテ面のメモリーボタンで設定した一旦停止位置（液晶タイプのみ）と裏面スイッチの設定内容を初期状態に戻すことができます。

⚠注意

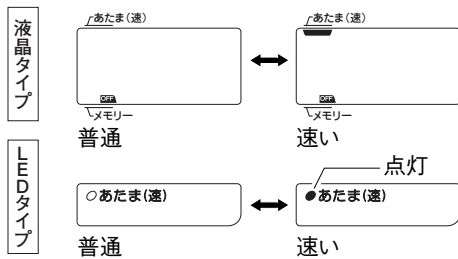
●裏面スイッチの切換えは、先の細いもの（鋭利なものを除く）でスイッチを軽く押して行ってください。
ただしシャープペンシルを利用する場合は、芯を出したままで行わないでください。芯が折れて手元スイッチの故障の原因となります。

■手元操作選択スイッチ

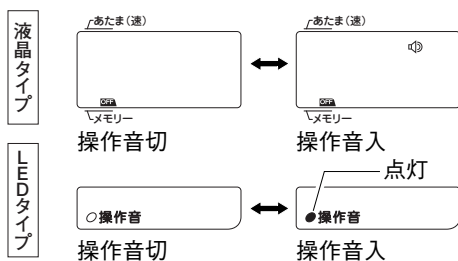
手元スイッチ裏面にある手元操作選択スイッチを操作することで、「あたま」「たかさ」「メモリー」のボタン操作を禁止にすることができます。

操作選択ランプ
点　　灯：操作可能
点灯せず：操作禁止
点　　滅：選択状態

❶裏面にある手元操作選択スイッチを1回押してください。
❷操作選択ランプが点滅します。ボタン操作を禁止にしたい個所のボタン（「あたま」「たかさ」のあげ・さげ、「メモリー」）を押すと、操作選択ランプが消え、操作禁止になります。
もう1度押すと点灯し、操作可能となります。
❸全ての操作の選択が完了しましたら、裏面の手元操作選択スイッチを1回押してください。

●手元操作選択スイッチを押して、操作選択ランプが点滅している時間は、約30秒です。この間に操作を選択してください。選択しなかった場合は、全ての操作が可能となります。
●手元操作選択スイッチを1回押し、操作選択ランプが点滅した時点で、それまでの選択内容は取消しされます。

■あたま速度（切換）スイッチ

あたま　起きあがりベッド

●背ボトムをあげさげする速さ（普通・速い）を交互に切換えることができます。
「速い」は「普通」の約1.5倍の速さで動作します。

■操作音入／切（切換）スイッチ

あたま　起きあがりベッド

たかさ　立ちあがりベッド

●手元スイッチ操作時の操作音（入・切）を交互に切換えることができます。

■リセットスイッチ

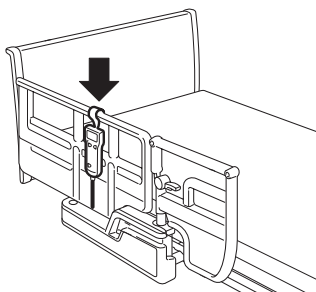
●裏面スイッチの設定内容を、全て初期状態に戻すことができます。（下記参照）

●液晶タイプのみ、メモリーボタンによる設定値を初期状態に戻すことができます。（19ページ参照）

※裏面スイッチの初期状態（何も選択していないとき）は次の通りです。
〇手元操作選択：すべての操作が可能
〇あたま速度：普通
〇操作音：入

●停電後や電源プラグ、手元スイッチコネクターを抜いた場合も、裏面スイッチ、メモリーボタンで設定した内容は取消しされません。

●初期状態に戻したい場合は、リセットスイッチを押してください。

■手元スイッチを掛ける場所

●手元スイッチを使用しないときは放置せず、誤って操作ボタンに触れることを防ぐため、フックを利用して、サイドレールなどに掛けてください。

7 ユニットの組合せ

■各製品は以下のユニットの組合せで使用してください。

●ベッドは正しいユニットの組合せを確認した上で組立ててください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因になります。各ユニットの番号は段ボール箱・製品識別表示ラベルに記載されています。

起きあがりベッド　手元スイッチ：「液晶タイプ」

	91幅ミニ					
	KQ-70200	KQ-70210	KQ-70220	KQ-70230	KQ-70240	KQ-70250
ベースフレーム	Q70000V					
頭側アクセサリー枠	Q71200H		Q71220H		Q71240H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70200F					
ボトム	Q71200U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230B	Q70240B	Q70250B

	91幅レギュラー					
	KQ-70300	KQ-70310	KQ-70320	KQ-70330	KQ-70340	KQ-70350
ベースフレーム	Q70000V					
頭側アクセサリー枠	Q71300H		Q71320H		Q71340H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70300F					
ボトム	Q71300U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230B	Q70240B	Q70250B

	91幅ロング					
	KQ-70B00	KQ-70B10	KQ-70B20	KQ-70B30	KQ-70B40	KQ-70B50
ベースフレーム	Q70000V					
頭側アクセサリー枠	Q71300H		Q71320H		Q71340H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70B00F					
ボトム	Q71B00U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230B	Q70240B	Q70250B

	100幅ミニ					
	KQ-70400	KQ-70410	KQ-70420	KQ-70430	KQ-70440	KQ-70450
ベースフレーム	Q70000V					
頭側アクセサリー枠	Q71400H		Q71420H		Q71440H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70200F					
ボトム	Q71400U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

	100幅レギュラー					
	KQ-70500	KQ-70510	KQ-70520	KQ-70530	KQ-70540	KQ-70550
ベースフレーム	Q70000V					
頭側アクセサリー枠	Q71500H		Q71520H		Q71540H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70300F					
ボトム	Q71500U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

	100幅ロング					
	KQ-70C00	KQ-70C10	KQ-70C20	KQ-70C30	KQ-70C40	KQ-70C50
ベースフレーム	Q70000V					
頭側アクセサリー枠	Q71500H		Q71520H		Q71540H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70B00F					
ボトム	Q71C00U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

起きあがりベッド

手元スイッチ：「LEDタイプ」

	91幅ミニ					
	KQ-7A200	KQ-7A210	KQ-7A220	KQ-7A230	KQ-7A240	KQ-7A250
ベースフレーム	Q7A000V					
頭側アクセサリー枠	Q71200H		Q71220H		Q71240H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70200F					
ボトム	Q71200U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230B	Q70240B	Q70250B

	91幅レギュラー					
	KQ-7A300	KQ-7A310	KQ-7A320	KQ-7A330	KQ-7A340	KQ-7A350
ベースフレーム	Q7A000V					
頭側アクセサリー枠	Q71300H		Q71320H		Q71340H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70300F					
ボトム	Q71300U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230B	Q70240B	Q70250B

	91幅ロング					
	KQ-7AB00	KQ-7AB10	KQ-7AB20	KQ-7AB30	KQ-7AB40	KQ-7AB50
ベースフレーム	Q7A000V					
頭側アクセサリー枠	Q71300H		Q71320H		Q71340H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70B00F					
ボトム	Q71B00U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230U	Q70240B	Q70250B

	100幅ミニ					
	KQ-7A400	KQ-7A410	KQ-7A420	KQ-7A430	KQ-7A440	KQ-7A450
ベースフレーム	Q7A000V					
頭側アクセサリー枠	Q71400H		Q71420H		Q71440H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70200F					
ボトム	Q71400U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

	100幅レギュラー					
	KQ-7A500	KQ-7A510	KQ-7A520	KQ-7A530	KQ-7A540	KQ-7A550
ベースフレーム	Q7A000V					
頭側アクセサリー枠	Q71500H		Q71520H		Q71540H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70300F					
ボトム	Q71500U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

	100幅ロング					
	KQ-7AC00	KQ-7AC10	KQ-7AC20	KQ-7AC30	KQ-7AC40	KQ-7AC50
ベースフレーム	Q7A000V					
頭側アクセサリー枠	Q71500H		Q71520H		Q71540H	
リトラフレーム	Q71200R					
足側アクセサリー枠	Q70B00F					
ボトム	Q71C00U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

立ちあがりベッド　手元スイッチ：「液晶タイプ」

	91幅ミニ					
	KQ-71200	KQ-71210	KQ-71220	KQ-71230	KQ-71240	KQ-71250
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q71000K					
頭側アクセサリー枠	Q70200H		Q70220H		Q70240H	
足側アクセサリー枠	Q70200F					
ボトム	Q70200U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230B	Q70240B	Q70250B

	91幅レギュラー					
	KQ-71300	KQ-71310	KQ-71320	KQ-71330	KQ-71340	KQ-71350
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q71000K					
頭側アクセサリー枠	Q70300H		Q70320H		Q70340H	
足側アクセサリー枠	Q70300F					
ボトム	Q70300U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230B	Q70240B	Q70250B

	91幅ロング					
	KQ-71B00	KQ-71B10	KQ-71B20	KQ-71B30	KQ-71B40	KQ-71B50
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q71000K					
頭側アクセサリー枠	Q70300H		Q70320H		Q70340H	
足側アクセサリー枠	Q70B00F					
ボトム	Q70B00U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230B	Q70240B	Q70250B

	100幅ミニ					
	KQ-71400	KQ-71410	KQ-71420	KQ-71430	KQ-71440	KQ-71450
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q71000K					
頭側アクセサリー枠	Q70400H		Q70420H		Q70440H	
足側アクセサリー枠	Q70200F					
ボトム	Q70400U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

	100幅レギュラー					
	KQ-71500	KQ-71510	KQ-71520	KQ-71530	KQ-71540	KQ-71550
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q71000K					
頭側アクセサリー枠	Q70500H		Q70520H		Q70540H	
足側アクセサリー枠	Q70300F					
ボトム	Q70500U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

	100幅ロング					
	KQ-71C00	KQ-71C10	KQ-71C20	KQ-71C30	KQ-71C40	KQ-71C50
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q71000K					
頭側アクセサリー枠	Q70500H		Q70520H		Q70540H	
足側アクセサリー枠	Q70B00F					
ボトム	Q70C00U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

立ちあがりベッド　手元スイッチ：「LEDタイプ」

	91幅ミニ					
	KQ-7B200	KQ-7B210	KQ-7B220	KQ-7B230	KQ-7B240	KQ-7B250
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q7B000K					
頭側アクセサリー枠	Q70200H		Q70220H		Q70240H	
足側アクセサリー枠	Q70200F					
ボトム	Q70200U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230B	Q70240B	Q70250B

	91幅レギュラー					
	KQ-7B300	KQ-7B310	KQ-7B320	KQ-7B330	KQ-7B340	KQ-7B350
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q7B000K					
頭側アクセサリー枠	Q70300H		Q70320H		Q70340H	
足側アクセサリー枠	Q70300F					
ボトム	Q70300U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230B	Q70240B	Q70250B

	91幅ロング					
	KQ-7BB00	KQ-7BB10	KQ-7BB20	KQ-7BB30	KQ-7BB40	KQ-7BB50
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q7B000K					
頭側アクセサリー枠	Q70300H		Q70320H		Q70340H	
足側アクセサリー枠	Q70B00F					
ボトム	Q70B00U					
ボード	Q70200B	Q70210B	Q70220B	Q70230B	Q70240B	Q70250B

	100幅ミニ					
	KQ-7B400	KQ-7B410	KQ-7B420	KQ-7B430	KQ-7B440	KQ-7B450
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q7B000K					
頭側アクセサリー枠	Q70400H		Q70420H		Q70440H	
足側アクセサリー枠	Q70200F					
ボトム	Q70400U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

	100幅レギュラー					
	KQ-7B500	KQ-7B510	KQ-7B520	KQ-7B530	KQ-7B540	KQ-7B550
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q7B000K					
頭側アクセサリー枠	Q70500H		Q70520H		Q70540H	
足側アクセサリー枠	Q70300F					
ボトム	Q70500U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

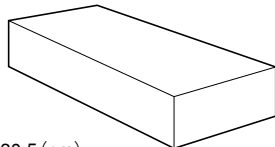
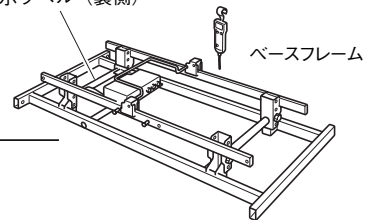
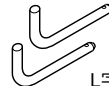
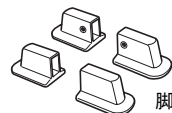
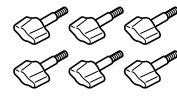
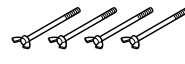
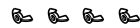
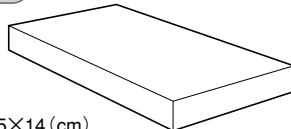
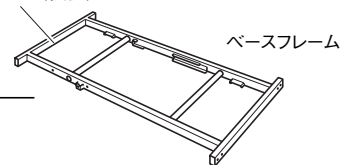
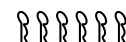
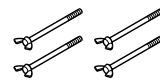
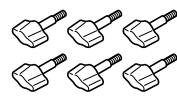
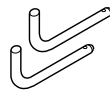
	100幅ロング					
	KQ-7BC00	KQ-7BC10	KQ-7BC20	KQ-7BC30	KQ-7BC40	KQ-7BC50
ベースフレーム	Q71000V					
駆動部	Q7B000K					
頭側アクセサリー枠	Q70500H		Q70520H		Q70540H	
足側アクセサリー枠	Q70B00F					
ボトム	Q70C00U					
ボード	Q70400B	Q70410B	Q70420B	Q70430B	Q70440B	Q70450B

8 開梱と部品の確認

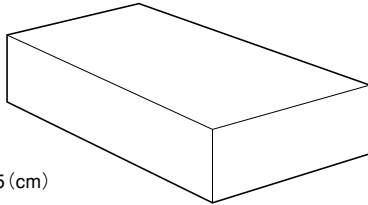
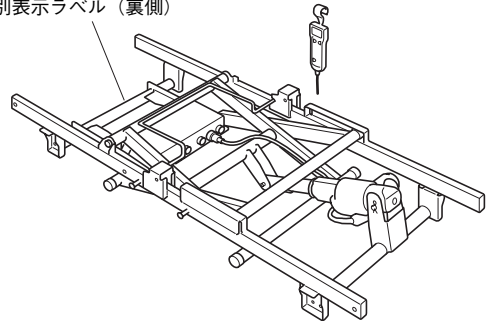
●起きあがりベッド・立ちあがりベッドとも、梱包数は6梱包あります。P23〜26の「ユニットの組合せ」を確認してください。

●開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。
万一、部品の不足や破損があった場合には、販売店または弊社までご連絡ください。

警告	●重量のあるユニットを組立てたり移動する際は、2人以上で作業を行ってください。背や腰をいためるおそれがあります。
注意	●組立てのときにはユニット同士やユニットの可動部で手をはさまないように注意してください。

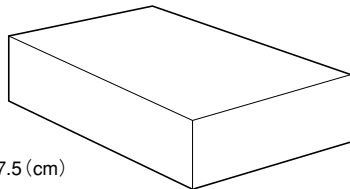
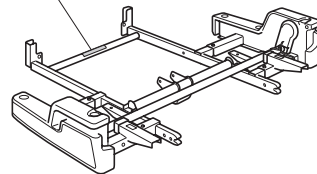
※（　）内の数字は梱包材を含む質量です。

❷ 駆動部

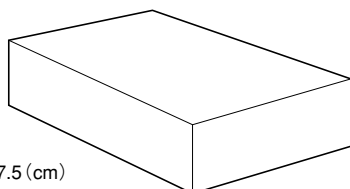
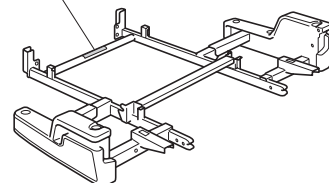
立ちあがりベッド

Q71000K
Q7B000K
約18.5kg
（22.5kg）

❸頭側アクセサリー枠

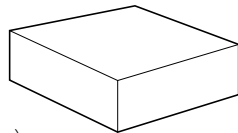
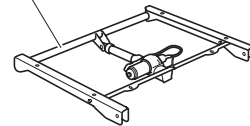
起きあがりベッド

91幅		100幅	
（ミニ）	（レギュラー・ロング）	（ミニ）	（レギュラー・ロング）
Q71200H	**Q71300H**	**Q71400H**	**Q71500H**
Q71220H	**Q71320H**	**Q71420H**	**Q71520H**
Q71240H	**Q71340H**	**Q71440H**	**Q71540H**
約19.0kg（25.5kg）	約19.5kg（25.5kg）	約19.5kg（25.5kg）	約19.5kg（25.5kg）

たかさ

立ちあがりベッド

91幅		100幅	
（ミニ）	（レギュラー・ロング）	（ミニ）	（レギュラー・ロング）
Q70200H	**Q70300H**	**Q70400H**	**Q70500H**
Q70220H	**Q70320H**	**Q70420H**	**Q70520H**
Q70240H	**Q70340H**	**Q70440H**	**Q70540H**
約15.5kg（22.0kg）	約15.5kg（22.0kg）	約15.5kg（22.0kg）	約15.5kg（22.0kg）

❹ リトラフレーム

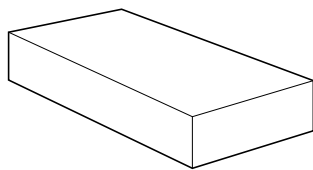
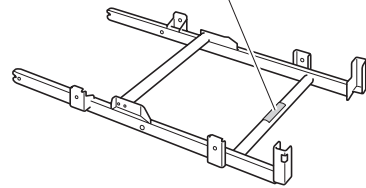
起きあがりベッド

Q71200R
約7.0kg
（10.0kg）

❺ 足側アクセサリー枠

起きあがりベッド

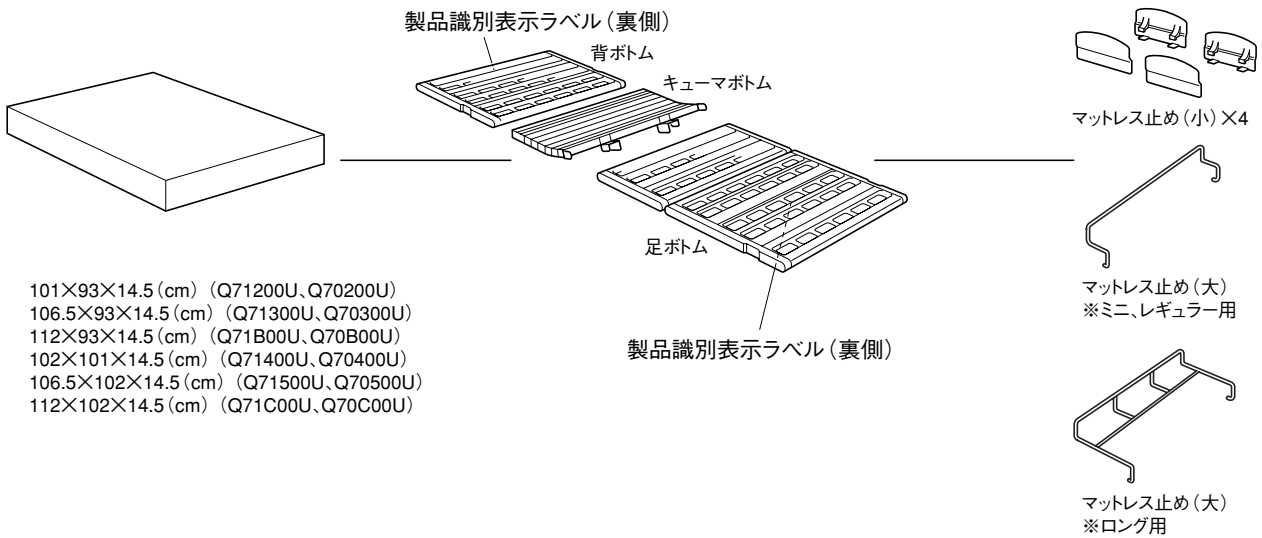
立ちあがりベッド

（ミニ）	（レギュラー）	（ロング）
Q70200F	**Q70300F**	**Q70B00F**
約5.0kg	約5.0kg	約5.5kg
（7.0kg）	（7.0kg）	（8.0kg）

※足側アクセサリー枠は91幅、100幅共通です。

❻ボトム

起きあがりベッド

91幅			100幅		
（ミニ）	（レギュラー）	（ロング）	（ミニ）	（レギュラー）	（ロング）
Q71200U	**Q71300U**	**Q71B00U**	**Q71400U**	**Q71500U**	**Q71C00U**
約19.0kg（21.5kg）	約20.0kg（22.5kg）	約20.5kg（23.5kg）	約20.5kg（23.0kg）	約21.5kg（24.0kg）	約22.5kg（25.5kg）

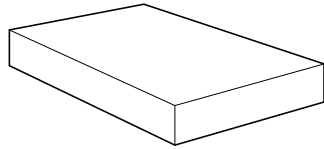
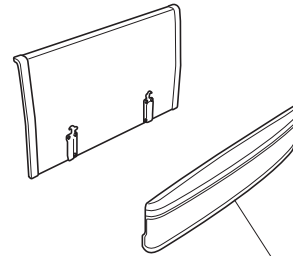
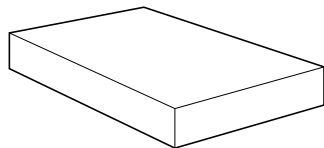
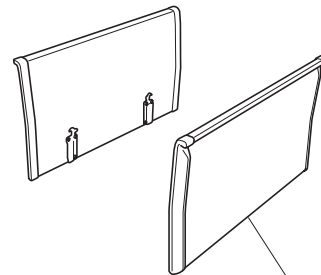
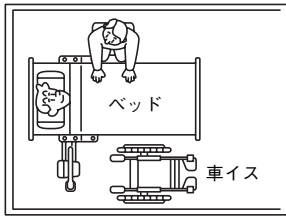
立ちあがりベッド

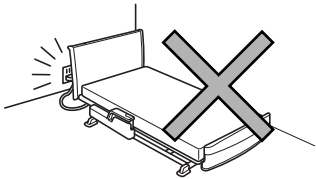
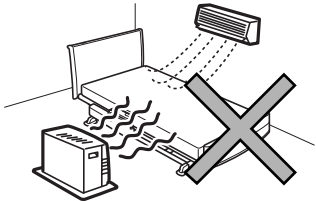
91幅			100幅		
（ミニ）	（レギュラー）	（ロング）	（ミニ）	（レギュラー）	（ロング）
Q70200U	**Q70300U**	**Q70B00U**	**Q70400U**	**Q70500U**	**Q70C00U**
約20.0kg（22.5kg）	約21.0kg（23.5kg）	約21.5kg（24.5kg）	約21.5kg（24.0kg）	約22.5kg（25.0kg）	約23.5kg（26.5kg）

8 開梱と部品の確認

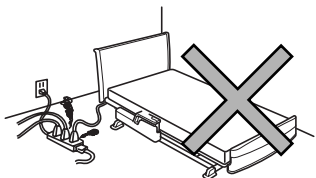
❼ ボード

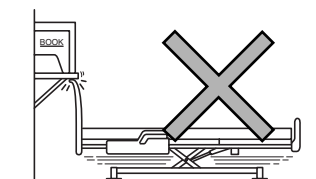
起きあがりベッド

立ちあがりベッド

H樹脂（大）／F樹脂（小）		H木調／F樹脂（小）	
91幅	100幅	91幅	100幅
Q70200B 約6.0kg （8.0kg）	**Q70400B** 約6.5kg （8.5kg）	**Q70220B** **Q70240B** 約7.0kg （9.0kg）	**Q70420B** **Q70440B** 約7.5kg （9.5kg）

95×57×17（cm）（Q70200B、Q70220B、Q70240B）
104×57×17（cm）（Q70400B、Q70420B、Q70440B）

樹脂（大）		木調	
91幅	100幅	91幅	100幅
Q70210B 約8.0kg （10.0kg）	**Q70410B** 約8.5kg （11.0kg）	**Q70230B** **Q70250B** 約9.5kg （11.5kg）	**Q70430B** **Q70450B** 約10.5kg （12.5kg）

95×57×17（cm）（Q70210B、Q70230B、Q70250B）
104×57×17（cm）（Q70410B、Q70430B、Q70450B）

■ベッドを設置するにあたって下記の条件を考慮してください。

●一度組立ててしまいますと部屋の中での移動、向きの変更が困難な場合があります。

❶ベッドの周辺のスペースを確保してください。ベッドで療養する方がベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、オプションや車いすをご使用の場合はベッドのどちら側で使用するかによって必要なスペースを確保してください。

❷水平なゆかに設置してください。

❸ベッドの質量は最も重いもので約85kgです。ベッドの質量・寝具の質量・オプション品の質量・ベッドで療養する方の体重を加えた総質量が、ベッド使用時にゆかにかかる荷重となります。この荷重に耐えられる場所に設置してください。

❹

❹電源プラグの抜き差しができなくなる場所にはベッドを設置しないでください。誤操作を防止するために、電源プラグを抜くことが必要になる場合があります。

❺

❺冷暖房器具による冷気や暖気が、ベッドに直接当たらないようにしてください。

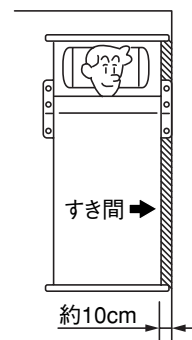
❻

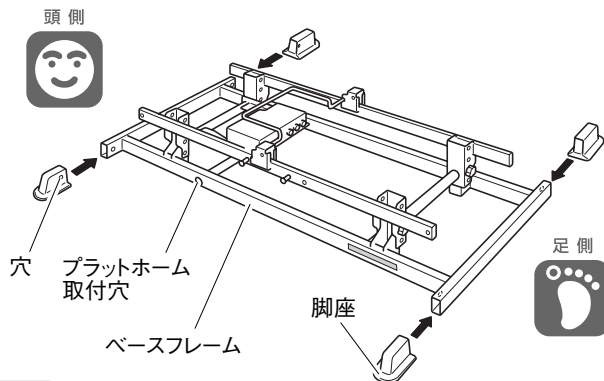
❻ベッドの電源は直接コンセントからとってください。コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続使用すると、電源コードやプラグが発熱するおそれがあります。

❼

❼ベッドは電動操作で動きます。特に高さ方向については、ベッドの高さ調節によってベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などに当たらないように配慮してください。

警告（けいこく）

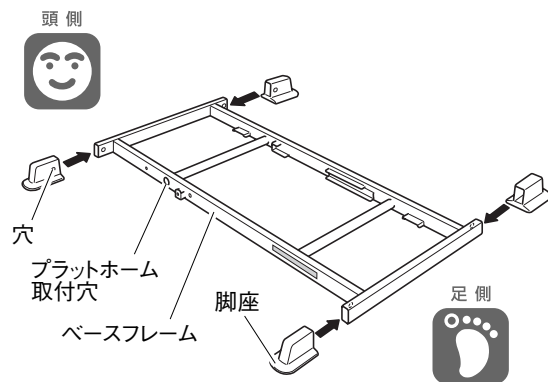
●オプション取付部の幅は、約10cmあります。そのため、ベッドを壁などに寄せて使用する場合、ベッドと壁などとの間にすき間が生じます。このすき間に、頭、手、足など身体の一部をはさまれないようにご注意ください。ベッドの設置の状況や使用される方の状態に応じてサイドレールやサイドスペーサーなど弊社指定のオプションをご使用ください。（「安全に使用するための注意事項」も合わせてご覧ください。）

1.脚座の取付け

起きあがりベッド
立ちあがりベッド

起きあがりベッド

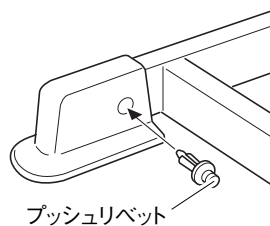
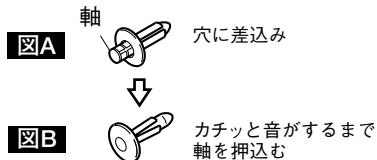
❶組立前に32ページの「設置について」に従い、ベッドの配置を決めてください。

❷ベースフレームを持ち、先端に脚座を差込んでください。（左右各2カ所）

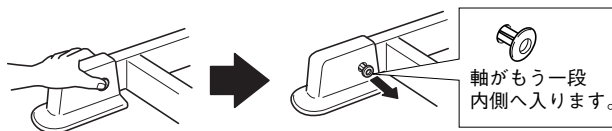
●**脚座には左右があります。穴のあいている方を内側にしてください。**
●**プラットホーム取付穴が付いている方が頭側です。**

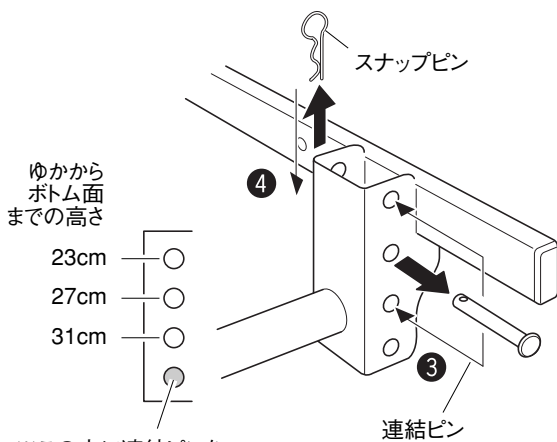
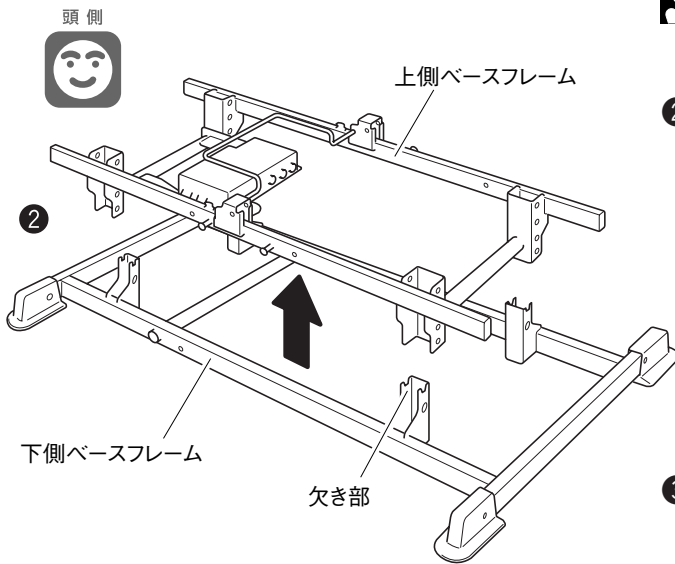
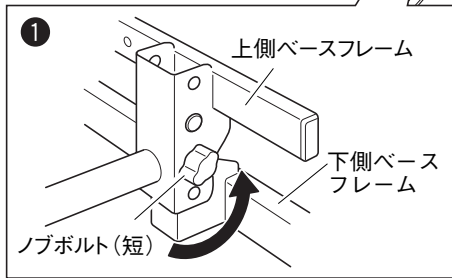
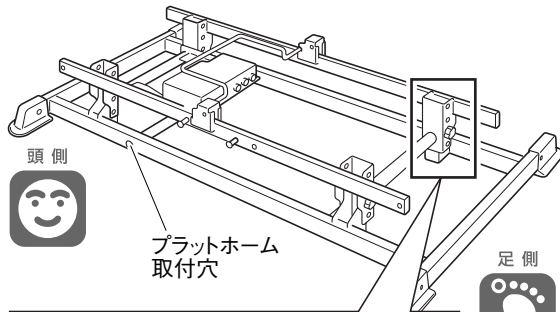
立ちあがりベッド

❸プッシュリベットが図Aのような状態であることを確認してください。（なっていない場合は図Aの状態にしてください。）

❹ベースフレームと脚座の穴位置を合わせプッシュリベットを差込んでください。

❺プッシュリベットの軸を押込んで図Bの状態にして、脚座をベースフレームに固定してください。（左右各2カ所）

プッシュリベットを取付けるときは

プッシュリベットを外すときは

●カチッと音がするまで指で軸をさらに押込んでください。固定が解除されますので、そのまま抜いてください。
※指で押込めない場合は、押込みすぎないように注意してドライバー等で軽く押込んでください。
※再度取付ける際は、**図A**の状態にしてください。

警告（けいこく）

●プッシュリベットで脚座を確実に固定してください。固定されていない場合、脚座が外れてけがや破損の原因となります。

起きあがりベッド 次の手順 P34　立ちあがりベッド 次の手順 P36

2.高さの設定

起きあがりベッド

高さの設定は

起きあがりベッド の作業です。

●ゆかからボトムまでの高さを23cm、27cm、31cmの3通りに設定できます。初期設定は27cmになっています。このままお使いになる方はこの作業は必要ありません。

❶上側ベースフレームと下側ベースフレームを固定しているノブボルト（短）を取外してください。（左右各2カ所）

●取外したノブボルト（短）は作業の最後に取付けますので、紛失しないように注意してください。

❷上側ベースフレームを下側ベースフレームから取外してください。

❸上側ベースフレームのスナップピン、連結ピンを取外し、連結ピンを差替えてください。（左右各2カ所）

❹連結ピンの穴にスナップピンを差込んでください。（左右各2カ所）

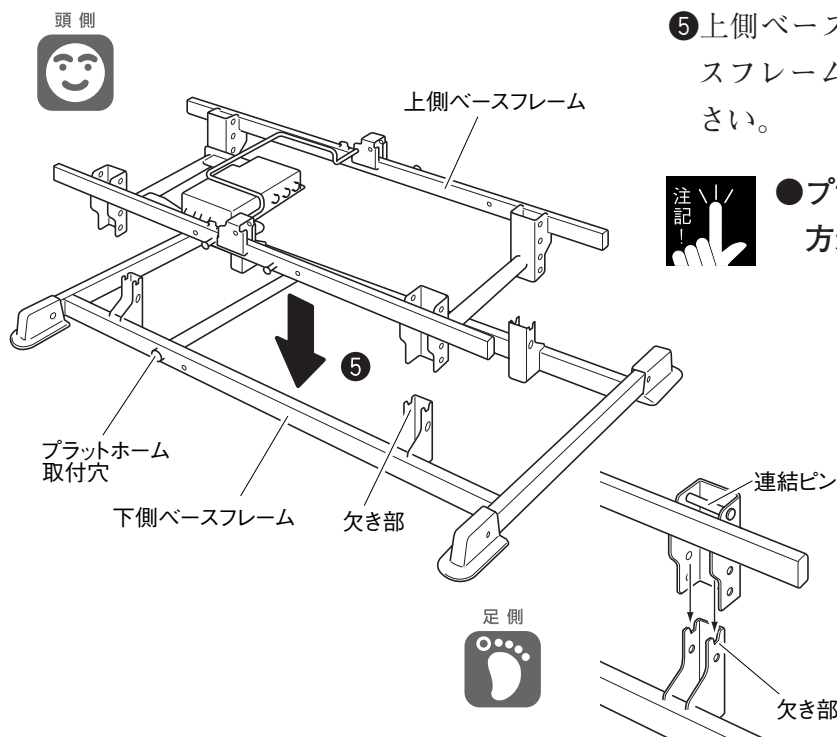
■スナップピンの取付方向

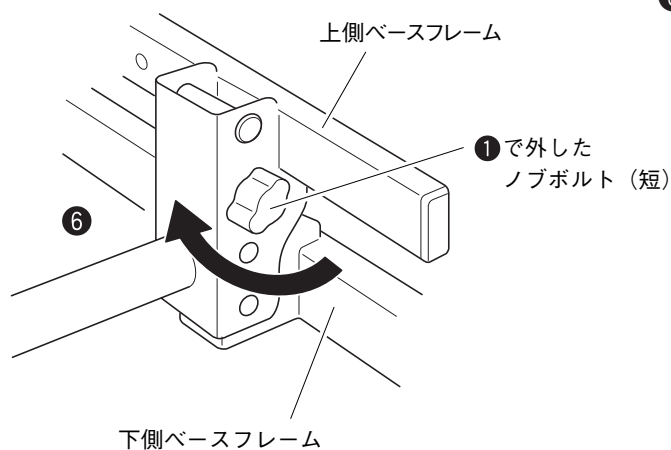
■スナップピンの使い方

図の状態になるまで確実に差込んでください。

次の手順 起きあがりベッド P35

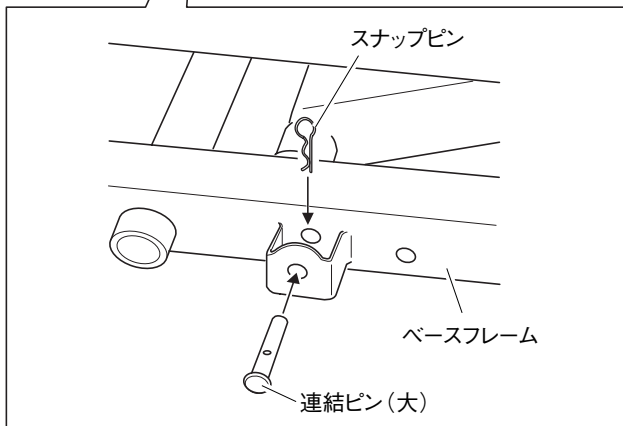
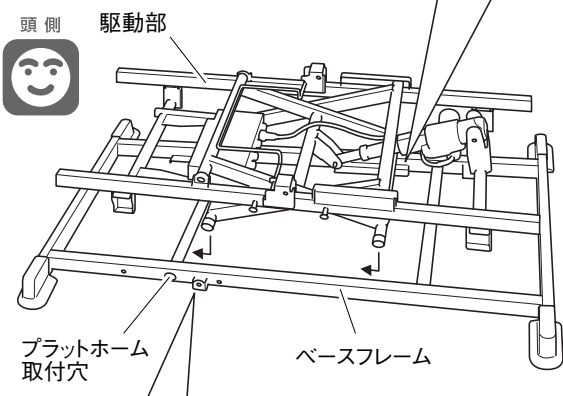
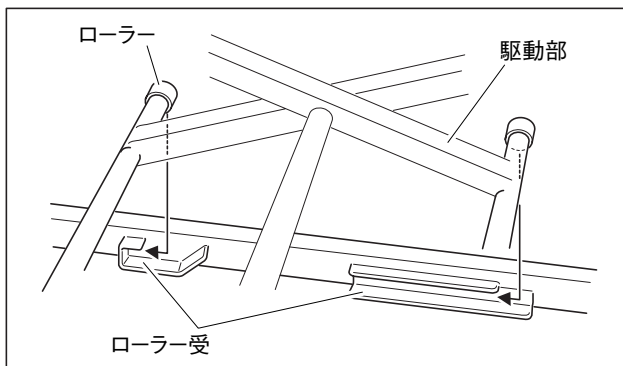
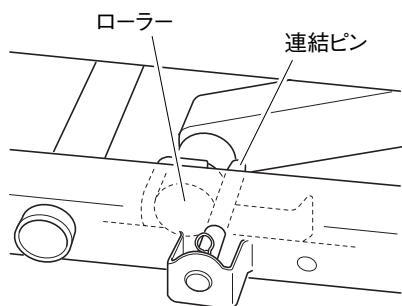
2.高さの設定

起きあがりベッド

❺上側ベースフレームの連結ピンを下側ベースフレームの欠き部に合わせてのせてください。

注記！ ●**プラットホーム取付穴が付いている方が頭側です。**

❻上側ベースフレームと下側ベースフレームを❶で外したノブボルト（短）で固定してください。（左右各2カ所）

⚠ 警告（けいこく）	●ノブボルト（短）は確実に締付けてください。ノブボルト（短）がゆるんでいると、ベッドが落下してけがをするおそれがあります。

⚠ 注意（ちゅうい）	●連結ピンは必ず4本とも同じ高さの穴に差込んでください。同じ高さの穴に差込まない状態で組立てると、ベッドが不安定な状態になり、けがや変形・破損の原因となります。

あたま 次の手順 起きあがりベッド ▷ P37

3.駆動部の取付け

立ちあがりベッド

駆動部の取付けは   の作業です。

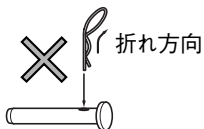
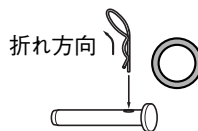
❶駆動部のローラーを、ベースフレームのローラー受に合わせてのせてください。

❷ローラーがローラー受の奥にあたるまで駆動部を頭側に、スライドさせてください。

●プラットホーム取付穴が付いている方が頭側です。

❸ベースフレームに連結ピン(大)を奥まで差込んでください。(左右各1カ所)

❹連結ピン(大)の穴にスナップピンを差込んでください。(左右各1カ所)

連結ピンを差込んだ状態

図の状態になるまで確実に差込んでください。

●駆動部は最後までスライドさせ、連結ピン(大)とスナップピンを確実に取付けてください。取付けが不完全な場合、ベッドが破損し、けがをするおそれがあります。

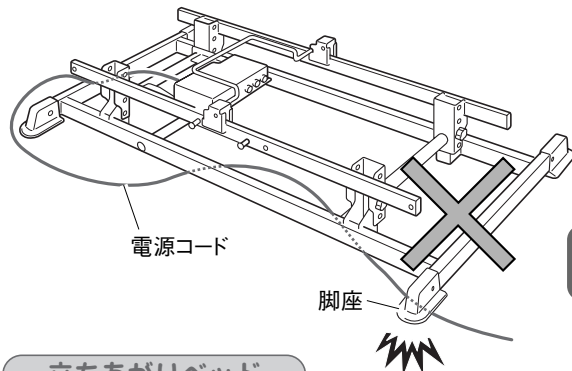
次の手順 たかさ 立ちあがりベッド P37

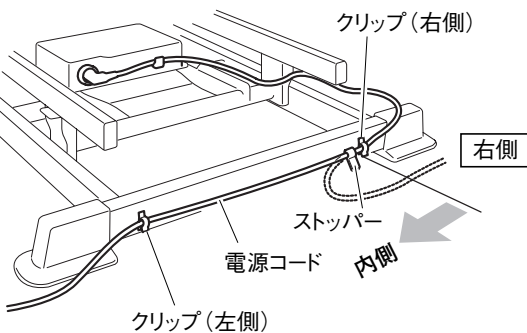
4.電源コードの配線

起きあがりベッド
立ちあがりベッド

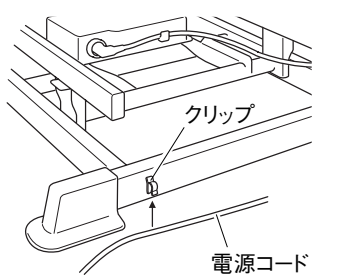
⚠ 警告

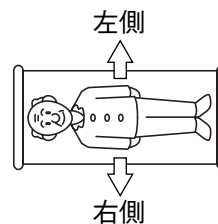
●電源コードは正しく配線してください。断線や破損のおそれがあります。
●電源プラグはベッドの組立が終了するまでコンセントに差込まないでください。誤操作によりけがをするおそれがあります。

起きあがりベッド

注記！ ●電源コードは脚座で踏まないように配線してください。

立ちあがりベッド

●ストッパーがクリップ（右側）の内側（図の位置）に来るように電源コードを取付けてください。
電源コードをベッドの左側に出す場合には、クリップ（左側）にもコードを取付けてください。

電源コードを固定するときは

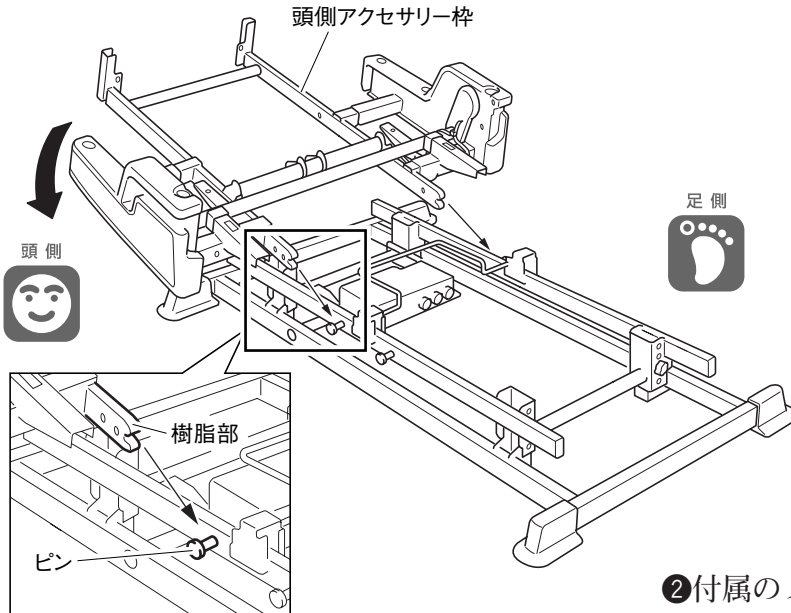
●図のように電源コードをクリップの開いている方から押し込みます。

ベッドの左右について

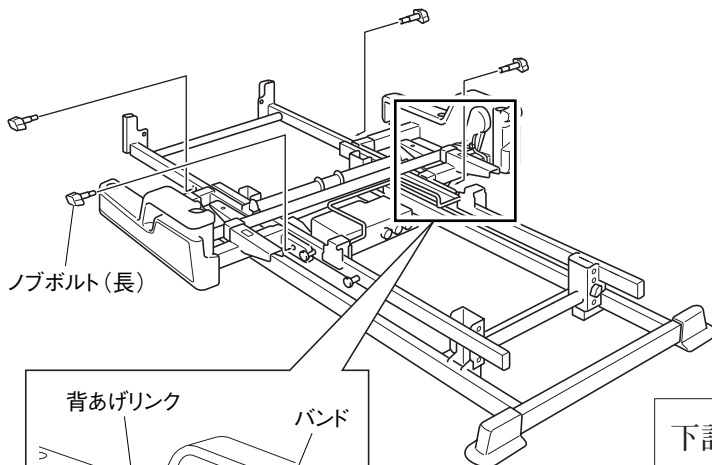
※この取扱説明書ではベッドに寝た人から見て右側・左側としております。

注記！
❶電源コードはベースフレームの上側および内側に入り込まないように配線してください。
❷電源コードは脚座で踏まないように配線してください。

起きあがりベッド 次の手順 P38 立ちあがりベッド 次の手順 P38

5.頭側アクセサリー枠の取付け 起きあがりベッド 立ちあがりベッド

起きあがりベッドで説明しています

❶頭側アクセサリー枠の樹脂部をピンに合わせて、のせてください。

❷付属のノブボルト（長）で頭側アクセサリー枠を固定してください。（左右各2カ所）

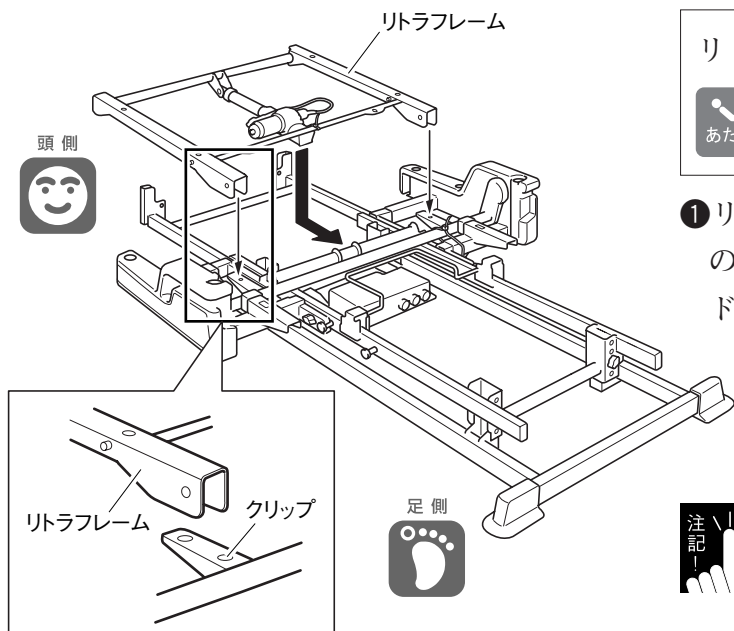
下記❸は あたま 起きあがりベッド の作業です。

❸頭側アクセサリー枠の背あげリンク部を固定しているバンドを取外してください。

注記！ **●取外したバンドはベッドを分解して保管する際に使用します。紛失しないよう、保管してください。**

警告

●ノブボルト（長）は確実に締付けてください。ノブボルト（長）がゆるんでいると、ベッドが落下してけがをするおそれがあります。

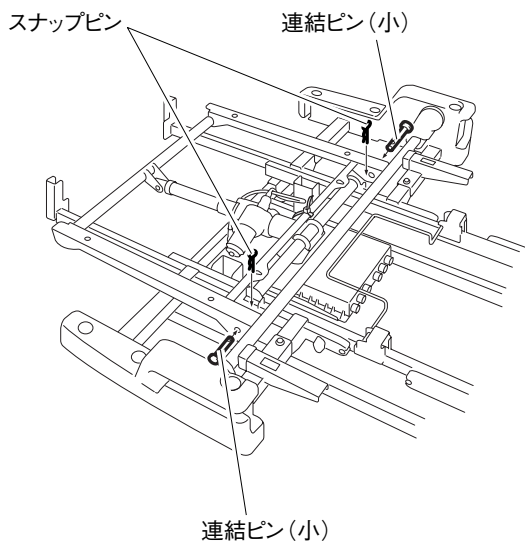
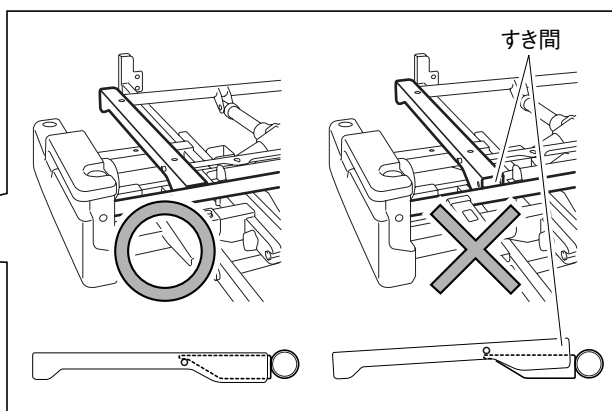
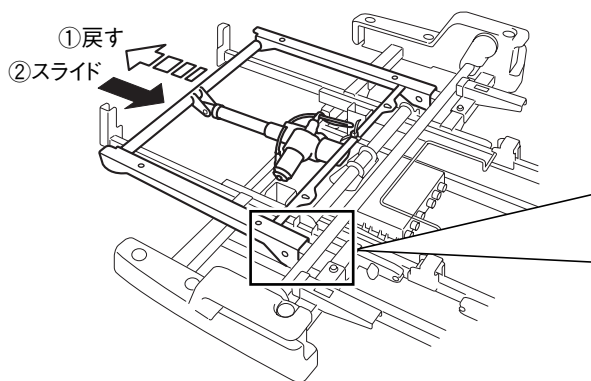
あたま 次の手順 起きあがりベッド P39 たかさ 次の手順 立ちあがりベッド P42

6.リトラフレームの取付け

起きあがりベッド

リトラフレームの取付けは あたま 起きあがりベッド の作業です。

❶リトラフレーム先端を頭側アクセサリー枠のクリップに合わせて置き、足側へスライドさせてください。

注記！

●リトラフレームと頭側アクセサリー枠の間にすき間がある場合は、左図のように一度頭側へ戻してから、足側へスライドさせてください。

❷リトラフレームを付属の連結ピン（小）で連結してください。（左右各1カ所）

❸連結ピン（小）の穴にスナップピンを差込んでください。（左右各1カ所）

あたま 起きあがりベッド 次の手順 P40

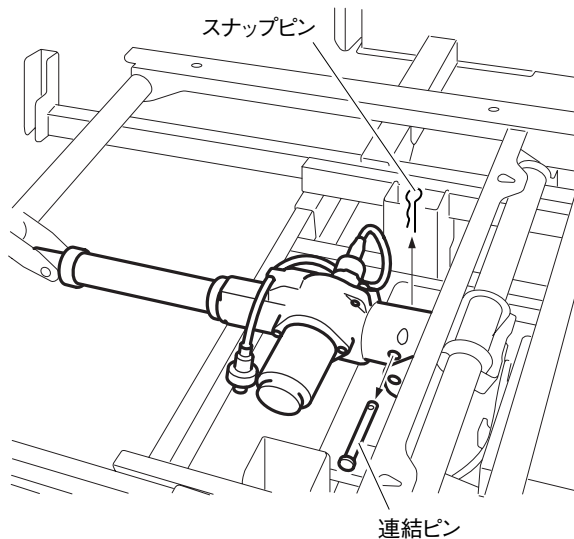
7.背アクチュエーターの取付け

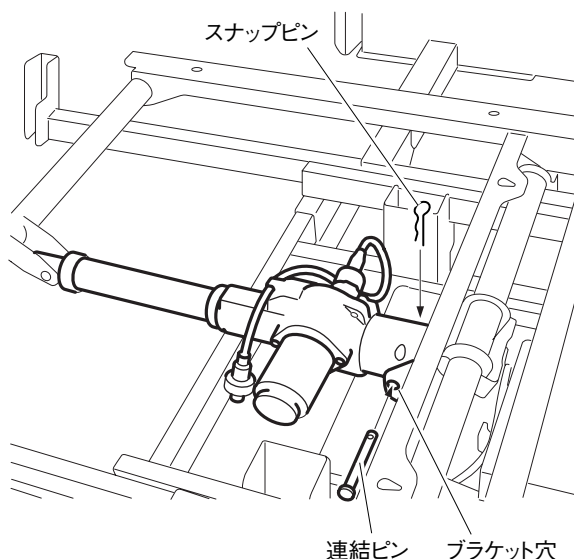
起きあがりベッド

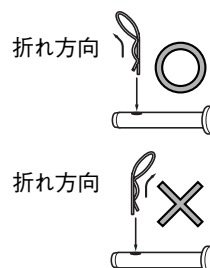
背アクチュエーターの取付けは

起きあがりベッド の作業です。

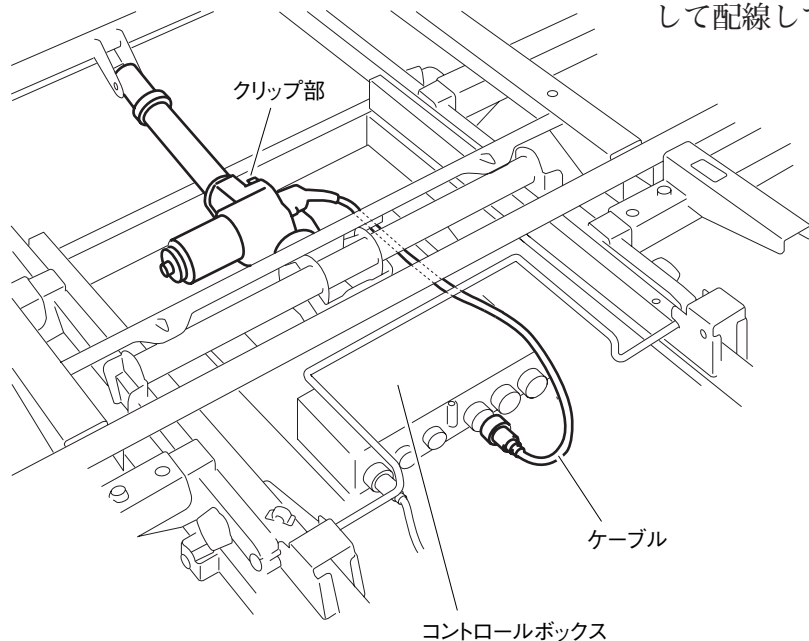
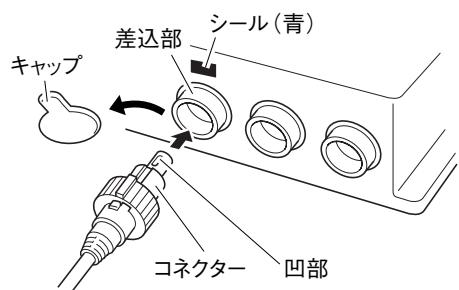
❶背アクチュエーターを固定しているバンドを取外してください。

●取外したバンドはベッドを分解して保管する際に使用します。紛失しないよう、保管してください。

❷背アクチュエーターのスナップピンを抜いて連結ピンを取外してください。

●連結ピンを取外す際は、背アクチュエーターをしっかり支えて落下させないよう注意してください。

❸連結ピンを取外した穴を頭側アクセサリー枠のブラケット穴に合わせ、❷で取外した連結ピンを差込み、背アクチュエーターを連結してください。

❹連結ピンの穴にスナップピンを差込んでください。

7.背アクチュエーターの取付け

起きあがりベッド

❺ケーブルを背アクチュエーターのクリップ部から取外し、図のようにフレームの下に通して配線してください。

❻コントロールボックスの背アクチュエーター差込部(青色)のキャップを取外してください。

●取外したキャップはベッドを分解して保管する際に使用します。紛失しないよう、保管してください。

右へ回す
(カチッと音がするまで)

❼背アクチュエーターのコネクター先端の凹部を上にし、コントロールボックスの差込み部(青色)に差込んでください。

❽コネクターキャップをキャップの凸部が真上にくるようカチッと音がするまで右に回してください。

●ケーブルは必ず上記の説明に従って配線してください。断線や破損のおそれがあります。

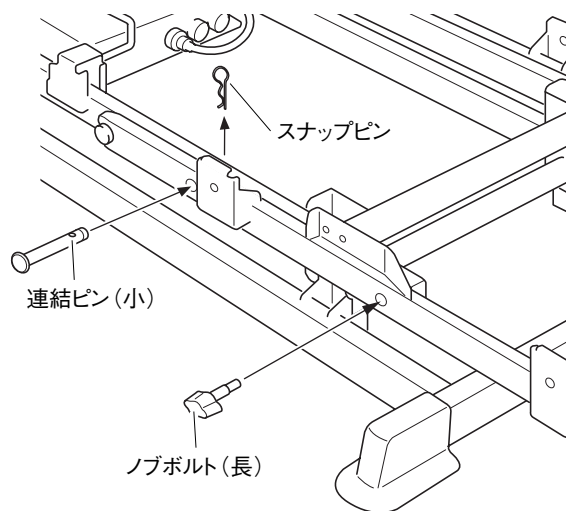
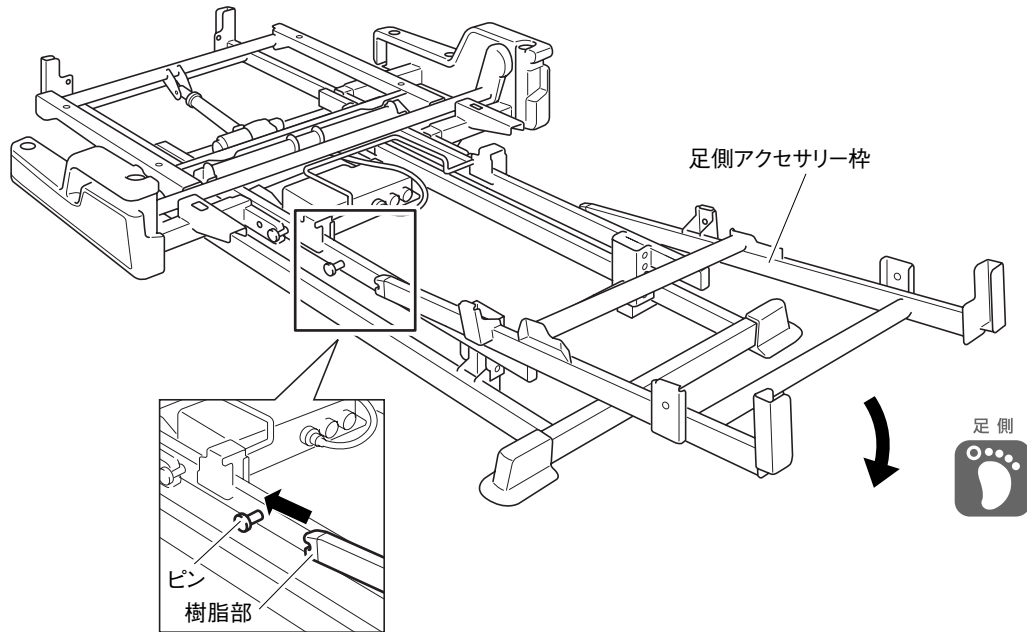
あたま 起きあがりベッド 次の手順 P42

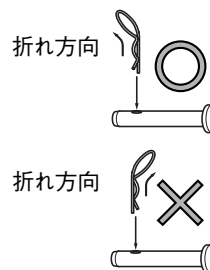
8.足側アクセサリー枠の取付け

起きあがりベッド

立ちあがりベッド

起きあがりベッドで説明しています

❶足側アクセサリー枠の樹脂部をピンに合わせて、のせてください。

❷付属のノブボルト(長)で足側アクセサリー枠を固定してください。(左右各1カ所)

❸足側アクセサリー枠を付属の連結ピン(小)で連結してください。(左右各1カ所)

❹連結ピン(小)の穴にスナップピンを差込んでください。(左右各1カ所)

⚠ 警(けい) 告(こく)	●ノブボルト(長)は確実に締付けてください。ノブボルト(長)がゆるんでいると、ベッドが落下してけがをするおそれがあります。

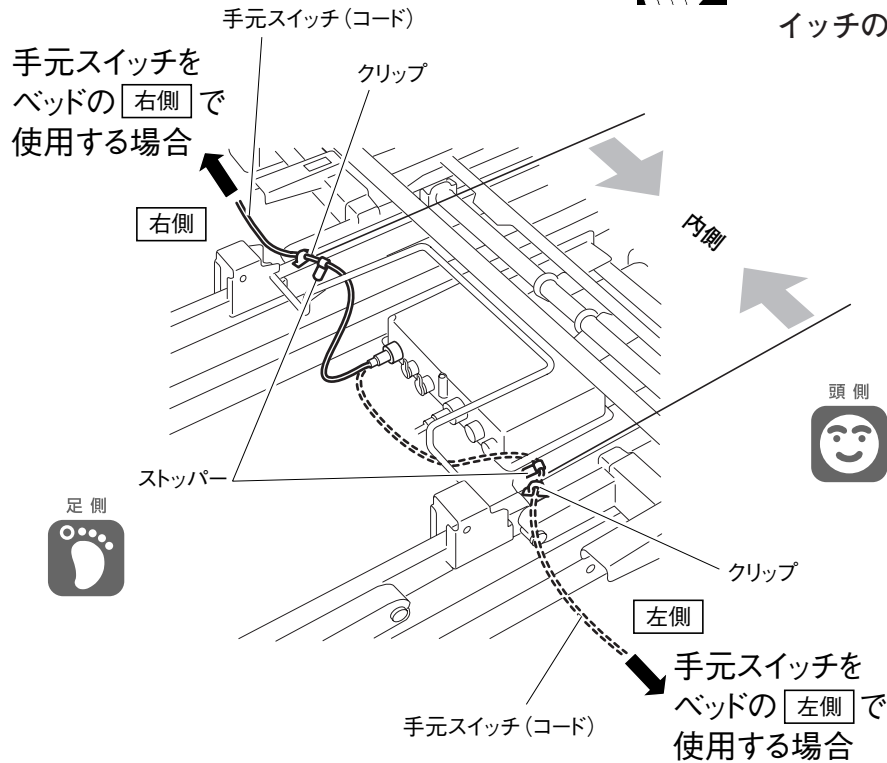
あたま 起きあがりベッド 次の手順 P43　たかさ 立ちあがりベッド 次の手順 P43

9.手元スイッチの取付け

起きあがりベッド
立ちあがりベッド

起きあがりベッドで説明しています

●手元スイッチのコードを図のように配線し、クリップに固定してください。

●ストッパーが取付範囲内（左右のクリップ内側）に来るように手元スイッチのコードを取付けてください。

手元スイッチのコードを固定するときは

●図のように手元スイッチのコードをクリップの開いている方から押し込みます。

ベッドの左右について

※この取扱説明書ではベッドに寝た人から見て右側・左側としております。

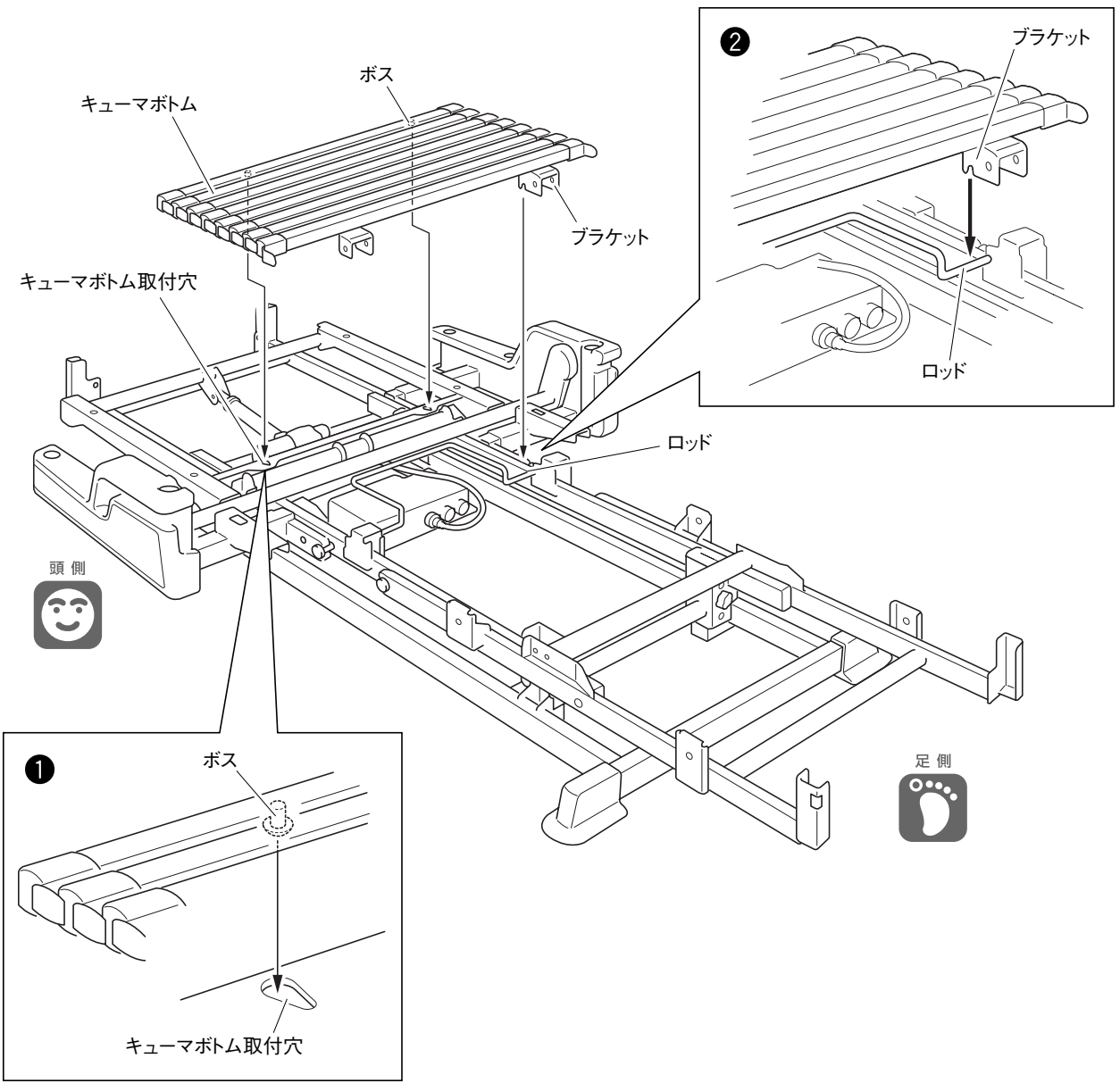
●コードは必ず上記の説明に従って配線してください。断線や破損のおそれがあります。

あたま 次の手順 起きあがりベッド P44 たかさ 次の手順 立ちあがりベッド P44

10.キューマボトムの取付け 起きあがりベッド 立ちあがりベッド

起きあがりベッドで説明しています

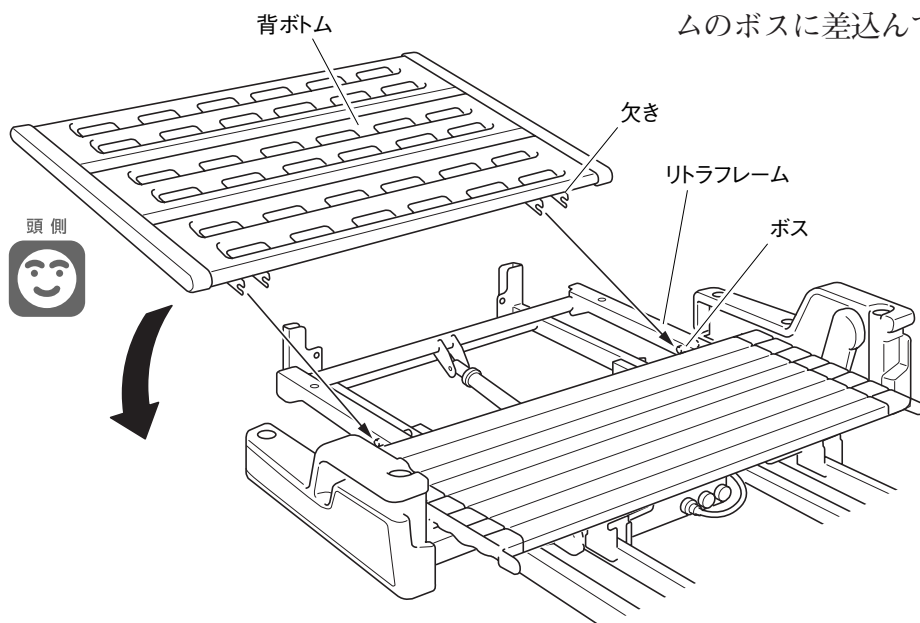
❶キューマボトムの左右のボスを、図のようにキューマボトム取付穴に差込んでください。

❷左右のブラケットの溝を、ロッドに差込んでください。

11.背ボトムの取付け

起きあがりベッド

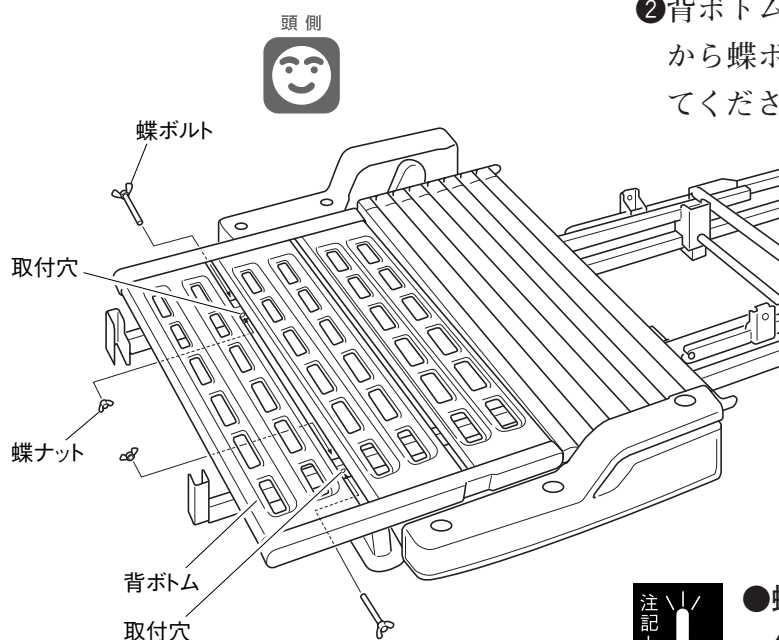
立ちあがりベッド

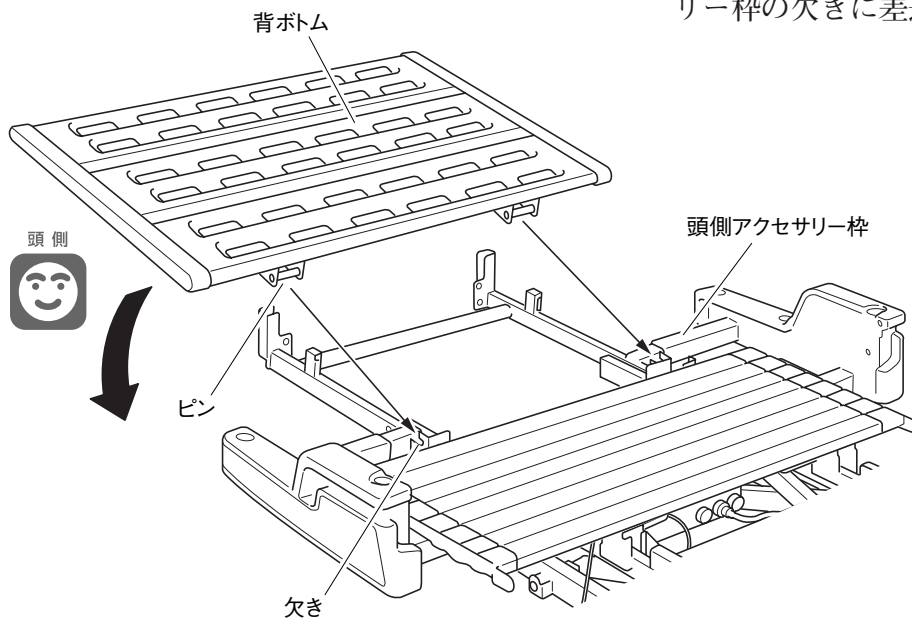
あたま 起きあがりベッド

❶図のように背ボトムの欠きをリトラフレームのボスに差込んでのせてください。

❷背ボトムとリトラフレームの取付穴に外側から蝶ボルトを差込み、蝶ナットで締付けてください。(左右各1カ所)

注記!

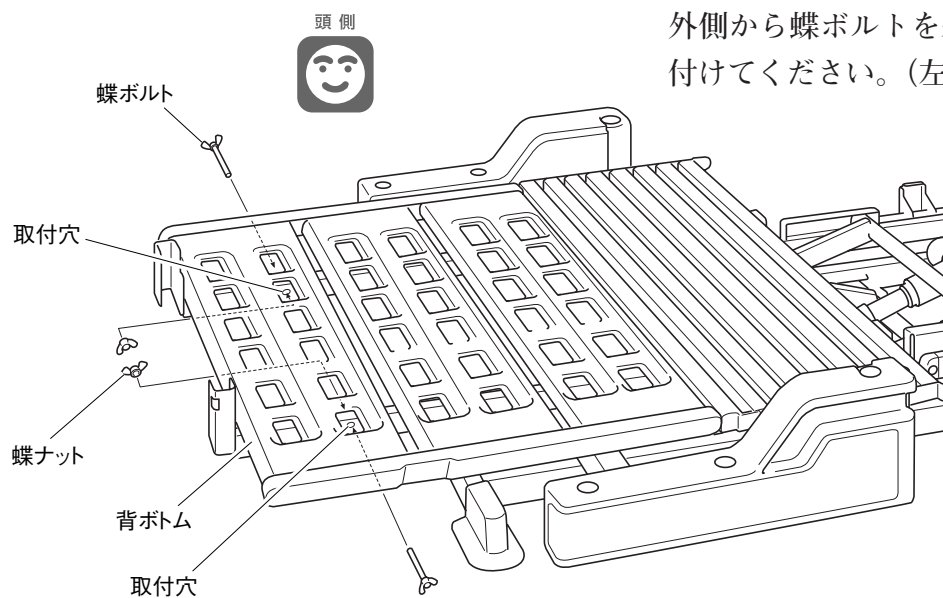
●蝶ナットは左右とも、手で十分に締付けてください。(工具不要)

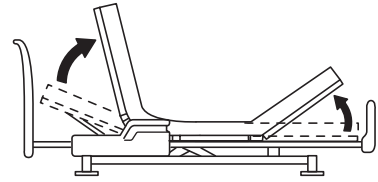
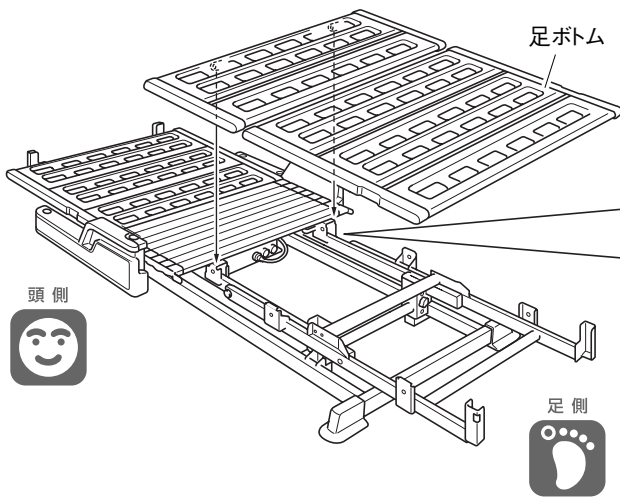
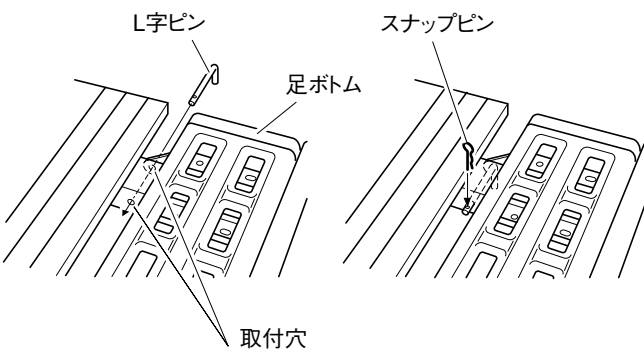
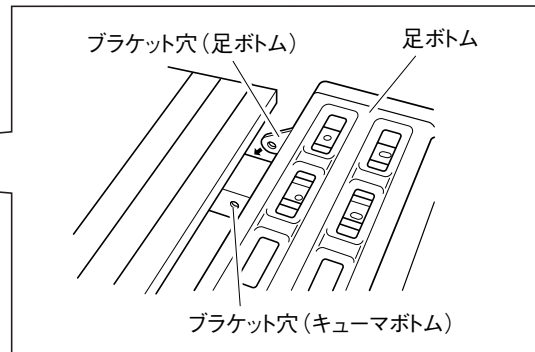
あたま 起きあがりベッド 次の手順 ▷ P47

立ちあがりベッド

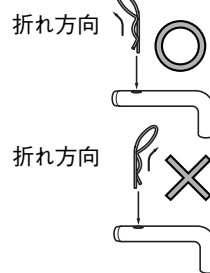
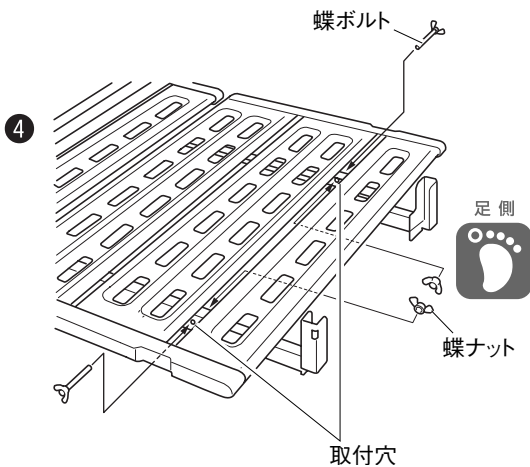
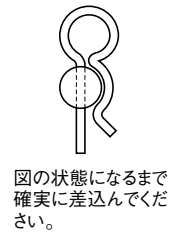
❶図のように背ボトムのピンを頭側アクセサリー枠の欠きに差込んでのせてください。

❷背ボトムと頭側アクセサリー枠の取付穴に外側から蝶ボルトを差込み、蝶ナットで締付けてください。(左右各1カ所)

●蝶ナットは左右とも、手で十分に締付けてください。(工具不要)

たかさ 立ちあがりベッド 次の手順 P47

12.足ボトムの取付け

起きあがりベッド
立ちあがりベッド

●背ボトム、足ボトムを持ちあげて逆に反らせたり、必要以上に曲げたりしないでください。変形・破損のおそれがあります。

起きあがりベッドで説明しています

❶足ボトムはブラケット穴をキューマボトムのブラケット穴に合うようにのせてください。

❷取付穴にL字ピンを外側から差込み、ボトムを連結してください。（左右各1カ所）

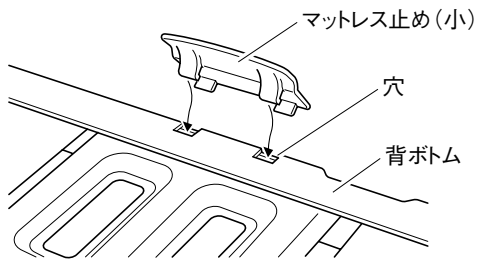
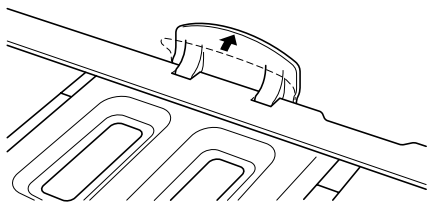
❸L字ピンの穴にスナップピンを差込んでください。（左右各1カ所）

❹足ボトムと足側アクセサリー枠の取付穴に外側から蝶ボルトを差込み、蝶ナットで締付けてください。（左右各1カ所）

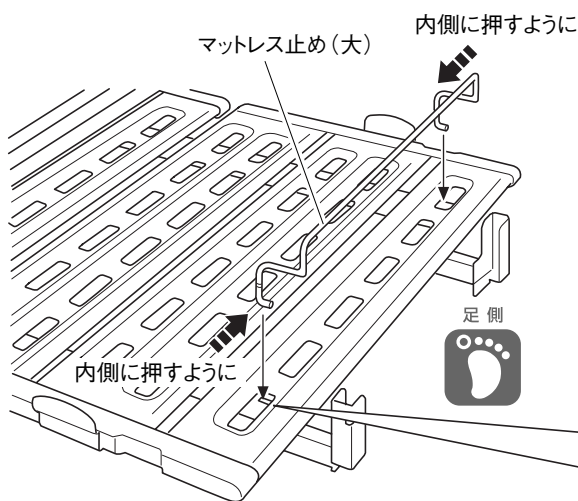
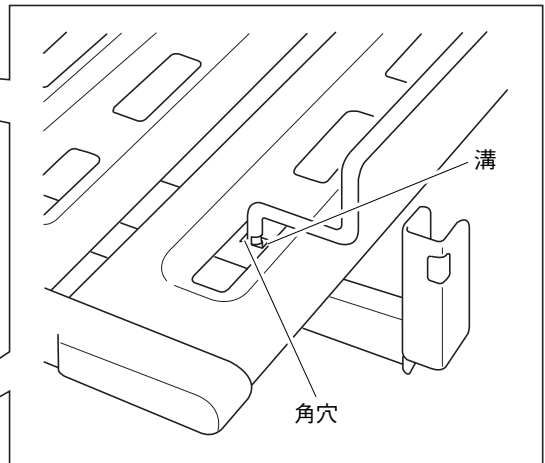
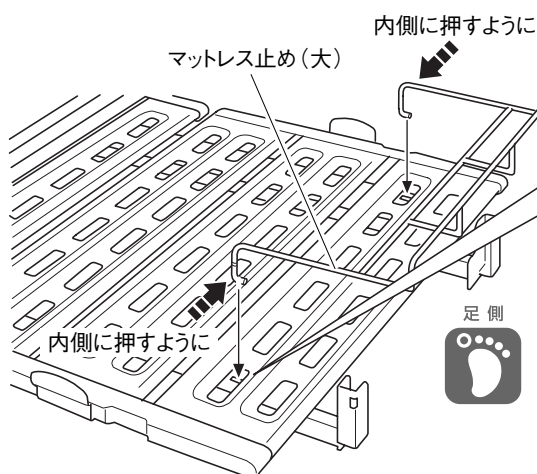
●蝶ナットは左右とも、手で十分に締付けてください。（工具不要）

あたま 起きあがりベッド 次の手順 P48　たかさ 立ちあがりベッド 次の手順 P48

13.マットレス止めの取付け

起きあがりベッド

立ちあがりベッド

❶マットレス止め（小）を背ボトム、足ボトム両端の穴に斜めに差込んでください。
（背ボトム・足ボトム左右各1カ所）

❷マットレス止め（小）を起こしてください。

●マットレス止め（小）の取付け後、軽く押し、確実に取付いていることを確認してください。

❸マットレス止め（大）の先端を内側に押しながら、溝部を足ボトムの角穴に、はめてください。

14.ヘッドボード・フットボードの取付け

起きあがりベッド

立ちあがりベッド

■ヘッドボード・フットボードにはボードストッパーが付いています。下記の手順で取付けてください。ボードはまっすぐ最後まで差込んでください。

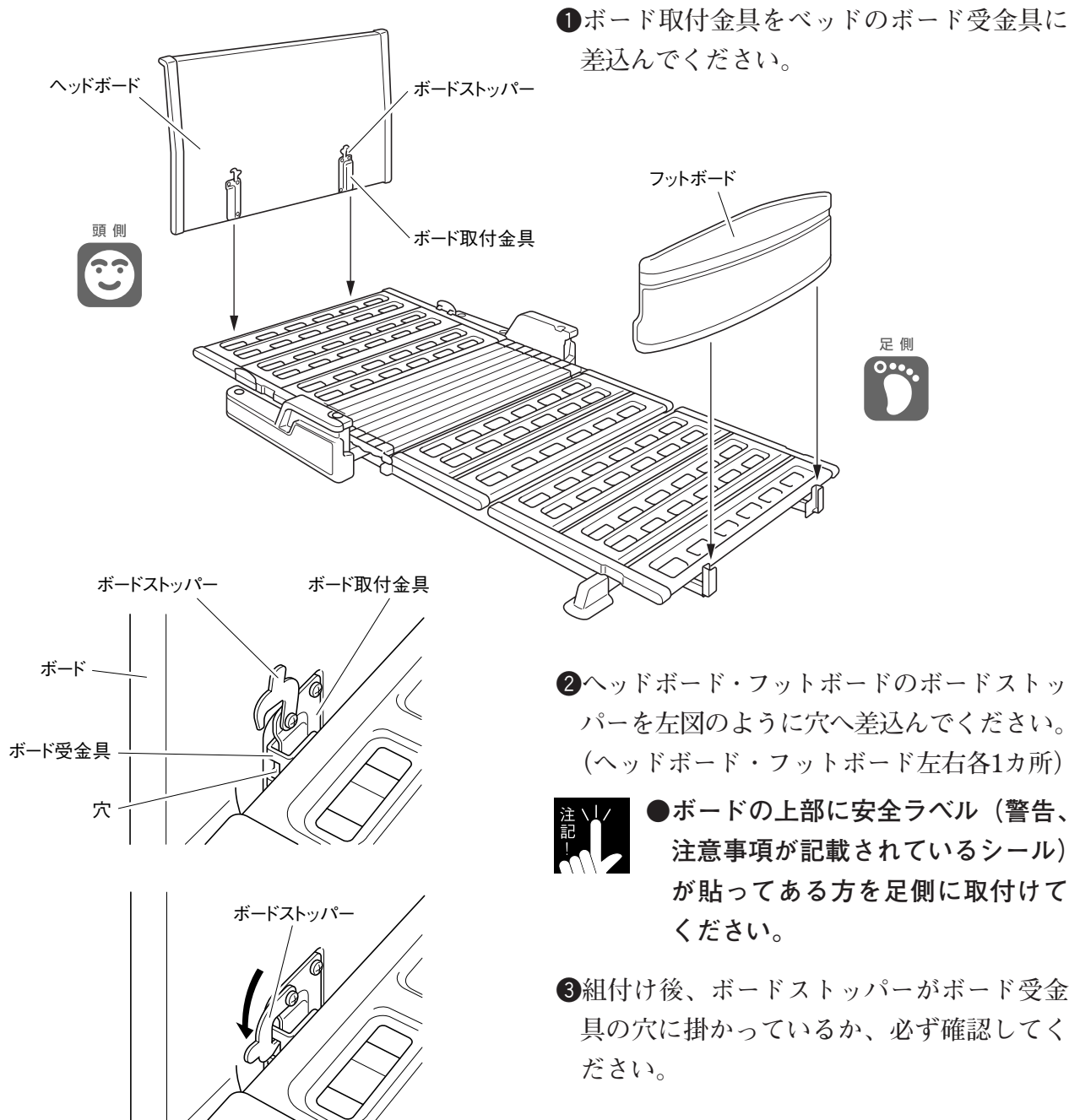
❶ボード取付金具をベッドのボード受金具に差込んでください。

ボードストッパー
ボード取付金具
ボード
ボード受金具
穴

ボードストッパー

❷ヘッドボード・フットボードのボードストッパーを左図のように穴へ差込んでください。
（ヘッドボード・フットボード左右各1カ所）

●ボードの上部に安全ラベル（警告、注意事項が記載されているシール）が貼ってある方を足側に取付けてください。

❸組付け後、ボードストッパーがボード受金具の穴に掛かっているか、必ず確認してください。

●ボードストッパーを掛け忘れたり、掛けかたが不完全な場合、不意にボードが外れてけがをするおそれがあります。
●ボードを取付ける際は、落下させないよう注意してください。足に当たってけがをしたり、ゆかやボードを傷つけたりするおそれがあります。

11 組立て後の点検

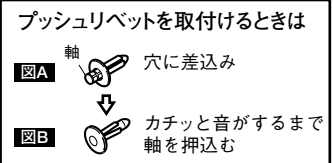
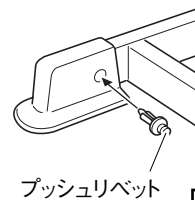
■ベッドの組立てが終わりましたら、このチェックシートで点検してください。（50～53ページをコピーしてお使いください。）
■点検は日常ご使用の際にも行ってください。

⚠ 警告（けいこく）	●組立て後の点検は必ず行ってください。点検が不十分な状態で使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。
	●手元スイッチを操作しながら点検作業をしている際に異常音や振動が生じた場合には、すぐにベッドの使用を中止し、パラテクノコールセンター（70ページ参照）までご連絡ください。

1 脚座の取付け（左右各2カ所）

・左右各2カ所の脚座がはまり、プッシュリベットがきちんと取付けられていますか？

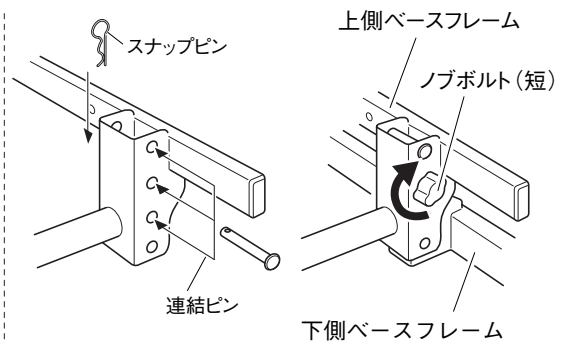
□はい

□いいえ→33ページ参照

2 高さの設定

起きあがりベッド

・左右各2カ所の連結ピンにスナップピンが差込まれ、ノブボルト（短）で締付けられていますか？

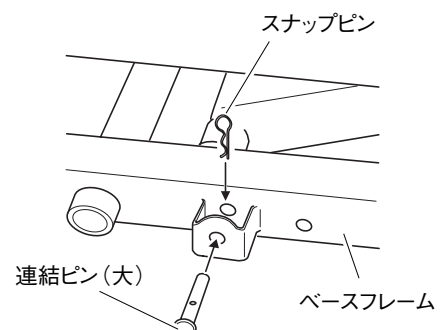
□はい

□いいえ→34～35ページ参照

3 駆動部の取付け

立ちあがりベッド

・左右各1カ所の連結ピン（大）にスナップピンが差込まれていますか？

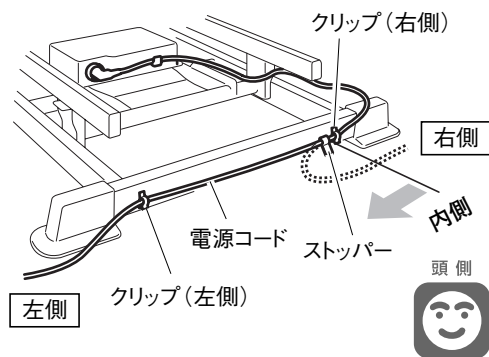
□はい

□いいえ→36ページ参照

4 電源コードの配線①

立ちあがりベッド

・電源コードは正しく配線され、クリップで固定されていますか？

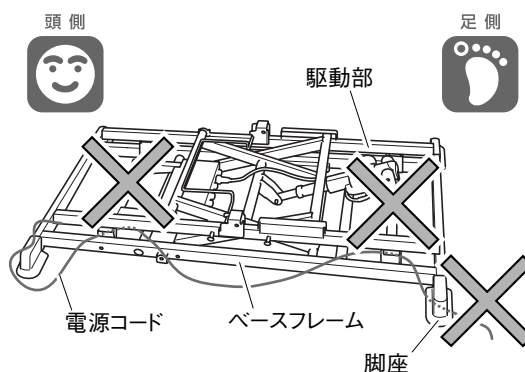
□はい

□いいえ→37ページ参照

5 電源コードの配線②

・可動部分と接触していませんか？

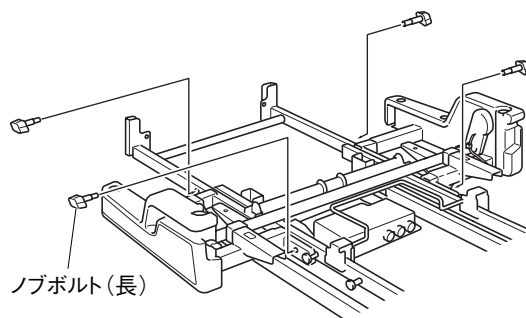
・脚座で踏んでいませんか？

□はい

□いいえ→37ページ参照

6 頭側アクセサリー枠の固定

・左右各2カ所、ノブボルト（長）で締付けられていますか？

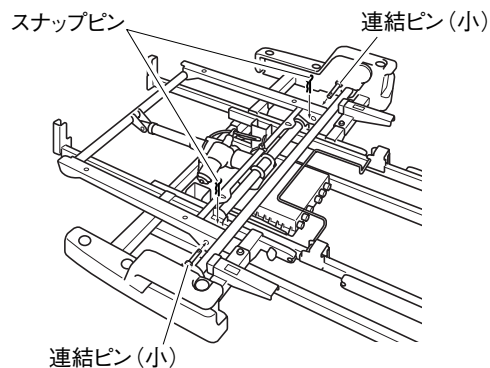
□はい

□いいえ→38ページ参照

7 リトラフレームの取付け

起きあがりベッド

・左右各1カ所の連結ピン（小）にスナップピンが差込まれていますか？

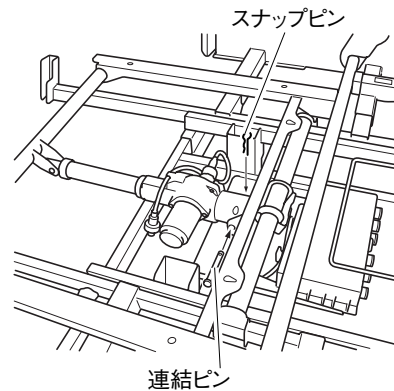
□はい

□いいえ→39ページ参照

8 背アクチュエーターの取付け

起きあがりベッド

・連結ピンにスナップピンが差込まれていますか？

□はい

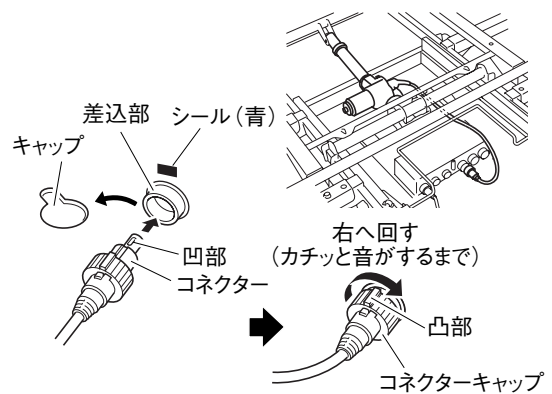
□いいえ→40ページ参照

9 背アクチュエーターケーブルとコントロールボックスの接続

起きあがりベッド

・ケーブルが正しく配線されていますか？

・コネクターキャップをカチッと音がするまで回していますか？

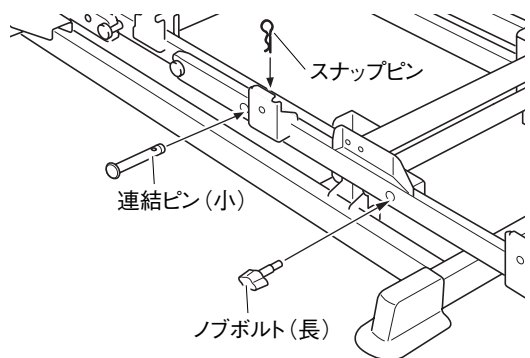
□はい

□いいえ→41ページ参照

10 足側アクセサリー枠の取付け

・左右各1カ所、ノブボルト（長）で締付けられていますか？

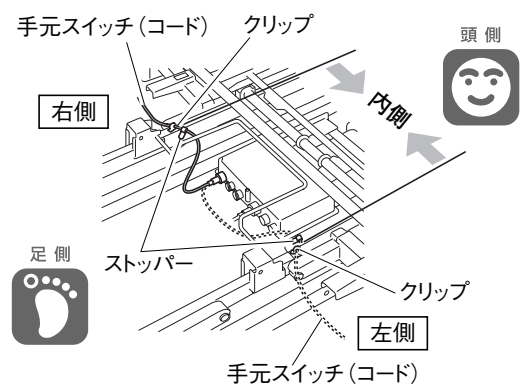
・左右各1カ所、連結ピン（小）にスナップピンが差込まれていますか？

□はい

□いいえ→42ページ参照

11 手元スイッチの取付け

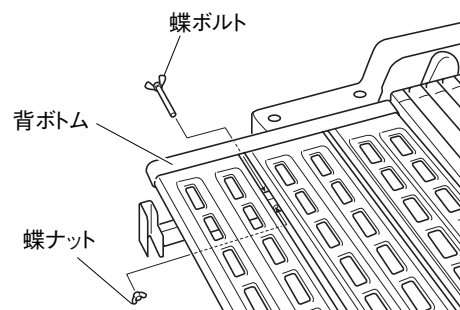
・コードが正しく配線され、クリップに固定されていますか？

□はい

□いいえ→43ページ参照

12 背ボトムの取付け

・左右各1カ所が蝶ボルト、蝶ナットで固定されていますか？

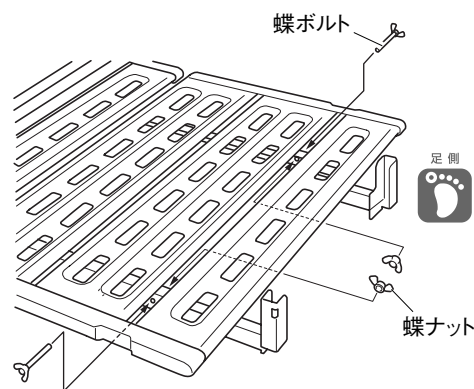
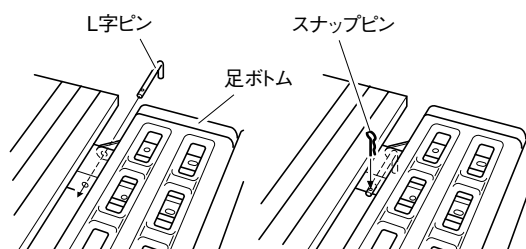
□はい

□いいえ→45～46ページ参照

13 足ボトムの取付け

・左右各1カ所の、L字ピンにスナップピンが差込まれていますか？

・左右各1カ所が蝶ボルト、蝶ナットで固定されていますか？

□はい

□いいえ→47ページ参照

14 電源の確認

・プラグをコンセントに差込むと、手元スイッチのランプが点灯しますか？

□はい　□いいえ

点灯せず→59ページ参照　　点滅→※1

15 アクチュエーターの確認

・手元スイッチの「さがる ⇩」ボタンを押したとき、電源ランプが点滅しますか？

□点滅しない　□点滅する→59ページ参照

16 障害物の確認

・手元スイッチで背ボトムやベッドの高さを一番上まであげたとき、家具などに当たりませんか？

□当たらない　□当たる→ベッドを移動するか、障害物を取り除いてください。

※1　調整、点検が必要です。販売店もしくはパラテクノコールセンター（70ページ参照）までご連絡ください。

⚠ 注意（ちゅうい）

●このベッドには、必ず指定のマットレスを組合わせてご使用ください。指定以外のマットレスは、寸法や折れ曲がりの点で、適合しないだけでなく、サイドレールなどにはさまれてけがをしたり、ベッドに負担をかけ、故障の原因となることがあります。

■レギュラーサイズベッド適合マットレス

マットレス	品番	サイズ	説明
エバーフィットマットレス（清拭タイプ）	KE-521Q	91cm幅用（厚さ10cm）	●両面で硬さが異なるリバーシブル仕様になっています。ハードフィット面は体をしっかり支え、起きあがり、立ちあがりがしやすい硬さを備えております。ソフトフィット面は、適度な体圧分散性能を備え、柔らかめの寝心地を望まれる方に適しています。清拭タイプは、水を通さないカバーを採用し、清拭による消毒が簡単に出来ます。
	KE-527Q	100cm幅用（厚さ10cm）	
エバーフィットマットレス（洗浄タイプ）	KE-571Q	91cm幅用（厚さ10cm）	●両面で硬さが異なるリバーシブル仕様になっています。ハードフィット面は体をしっかり支え、起きあがり、立ちあがりがしやすい硬さを備えております。ソフトフィット面は、適度な体圧分散性能を備え、柔らかめの寝心地を望まれる方に適しています。洗浄タイプは、通気性の高いウレタンとカバーを採用し、マットレスごと丸洗いが出来ます。
	KE-577Q	100cm幅用（厚さ10cm）	
プレグラーマットレス	KE-551Q	91cm幅用（厚さ8cm）	●エバーフィットマットレスのハードフィット面に比べやや硬めのマットレスです。硬めの寝心地を望まれる方に適しています。 ●上下、表裏の区別はありません。
	KE-557Q	100cm幅用（厚さ8cm）	
パラケアスーパーマットレス	KE-651	91cm幅用（厚さ8.5cm）	●プレグラーマットレスに比べ、やや硬めのマットレスです。腰掛けたとき、手を突いたときの沈み込みが少なく、体の保持と安定性に優れています。硬めの寝心地を望まれる方に適しています。 ●上下、表裏の区別はありません。
パラケアマットレス	KE-601Q	91cm幅用（厚さ8.5cm）	
	KE-607	100cm幅用（厚さ8.5cm）	
ポケットコイルスプリングマットレス	KE-451	91cm幅用（厚さ10cm）	●スプリングコイルが独立しているので、部分的な振動が全体に伝わりにくい構造です。 ●上下、表裏の区別はありません。
	KE-457	100cm幅用（厚さ10cm）	
クレーターマットレス	KE-761	91cm幅用（厚さ9cm）	●エバーフィットマットレスのソフトフィット面に比べ、やや柔らかめのウレタンフォームマットレスです。柔らかめの寝心地を望まれる方に適しています。 ●表面、裏面がありますのでマットレスの表示を上にしてご使用ください。

■ミニサイズベッド適合マットレス

マットレス	品番	サイズ	説明
エバーフィットマットレス（清拭タイプ）	KE-5211Q	91cm幅用（厚さ8cm）	●両面で硬さが異なるリバーシブル仕様になっています。ハードフィット面は体をしっかり支え、起きあがり、立ちあがりがしやすい硬さを備えております。ソフトフィット面は、適度な体圧分散性能を備え、軟らかめの寝心地を望まれる方に適しています。清拭タイプは、水を通さないカバーを採用し、清拭による消毒が簡単に出来ます。
	KE-5271Q	100cm幅用（厚さ8cm）	
エバーフィットマットレス（洗浄タイプ）	KE-5711Q	91cm幅用（厚さ8cm）	●両面で硬さが異なるリバーシブル仕様になっています。ハードフィット面は体をしっかり支え、起きあがり、立ちあがりがしやすい硬さを備えております。ソフトフィット面は、適度な体圧分散性能を備え、軟らかめの寝心地を望まれる方に適しています。洗浄タイプは、通気性の高いウレタンとカバーを採用し、マットレスごと丸洗いが出来ます。
	KE-5771Q	100cm幅用（厚さ8cm）	
プレグラーマットレス	KE-5511Q	91cm幅用（厚さ8cm）	●エバーフィットマットレスのハードフィット面に比べやや硬めのマットレスです。硬めの寝心地を望まれる方に適しています。 ●上下、表裏の区別はありません。
	KE-5571Q	100cm幅用（厚さ8cm）	

■ロングサイズベッド用延長マットレス
（ロングサイズベッドには、レギュラーサイズベッド適合マットレスに下記の延長マットレスを組合わせてご使用ください。）

マットレス	品番	サイズ	説明
延長マットレス	KE-7521	91cm幅用（厚さ10cm）	●レギュラーサイズの各種マットレスの足側に置くことで、14cm長さを延長することが出来ます。 ●下記のレギュラーサイズベッド適合マットレスとの組合わせを推奨します。 ・エバーフィットマットレス（清拭・洗浄両タイプ）・ポケットコイルスプリングマットレス ・クレーターマットレス（91cm幅用のみ）
	KE-7527	100cm幅用（厚さ10cm）	
延長マットレス	KE-7551	91cm幅用（厚さ8.5cm）	●レギュラーサイズの各種マットレスの足側に置くことで、14cm長さを延長することが出来ます。 ●下記のレギュラーサイズベッド適合マットレスとの組合わせを推奨します。 ・プレグラーマットレス　・パラケアマットレス ・パラケアスーパーマットレス（91cm幅用のみ）
	KE-7557	100cm幅用（厚さ8.5cm）	

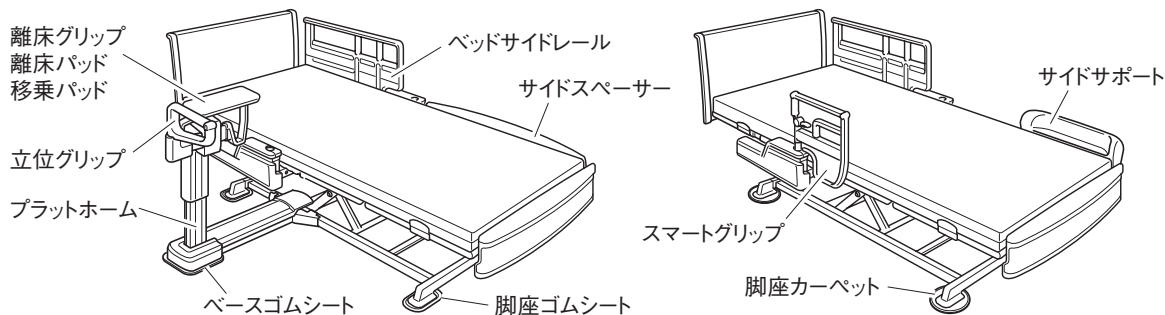
※その他のマットレスの適合については、弊社までお問合せください。

●延長マットレスは、必ず足側に置いてください。
●延長マットレスの端にのらないでください。延長マットレスがずれ落ち、けがをするおそれがあります。

13 オプションの取付けとご注意

■ベッドの両サイドのオプション取付穴を利用して、各種オプションが使用できます。
■安全のため、使用する方が転落するおそれがある場合などにはベッドサイドレールまたはサイドサポートをご使用ください。

⚠ 警告（けいこく）	●オプション間のすき間やオプションとベッド本体のすき間に、身体の一部（特に頭や首）が入らないように注意してください。すき間に入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。
⚠ 注意（ちゅうい）	●このベッドには、必ず指定の製品を組合せてご使用ください。指定以外の製品を組合せて使用すると、けがや破損の原因になります。

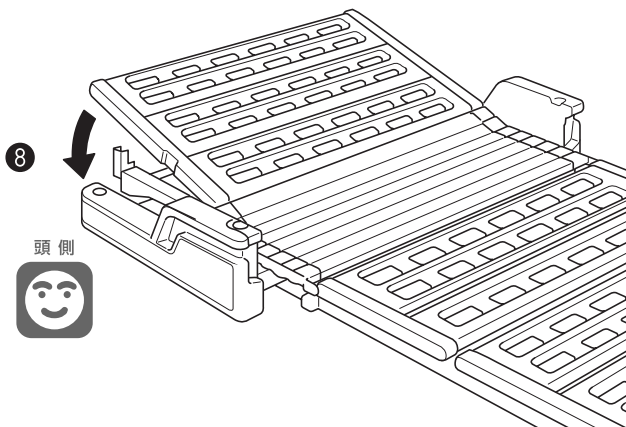
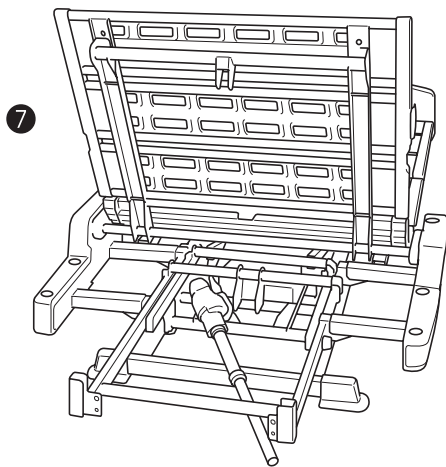
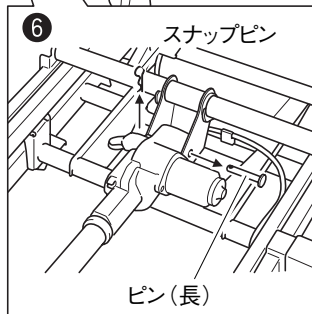
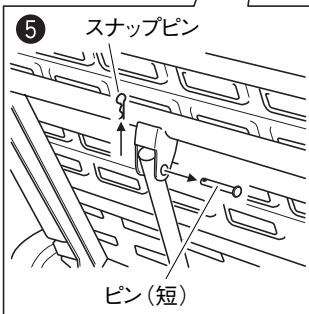
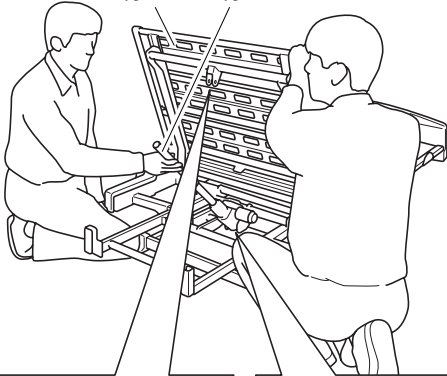
●各オプションに添付されている取扱説明書を必ずお読みください。
●ベッド用のオプションを組合せる場合は、仕様変更等によりこの取扱説明書の記述と異なる場合があります。ご不明な点は販売店またはパラテクノコールセンター（70ページ参照）までお問合せください。

■適合オプション

オプション	説明
ベッドサイドレール　KS-135Q	ベッドのオプション取付穴（小）に差込んで使用します。
サイドサポート　KA-038A,038B	足ボトムに取付けて使用します。
スマートグリップ　KQ-P700	ベッドのオプション取付穴（大）に差込んで使用します。
サイドスペーサー　KQ-P740B（ミニ用）KQ-P740A（レギュラー・ロング用）	ベッドを壁側に寄せて使用する場合に、ベッドと壁面とのすき間への転落および、寝具の落下を予防するために使用します。
プラットホーム　KQ-P710	ベッドのベースフレームに取付けます。離床グリップ、離床パッド、移乗パッドなどを取付けて使用します。
離床グリップ　KQ-P711	プラットホームに取付けて使用します。

オプション	説明
離床パッド　KQ-P712	プラットホームに取付けて使用します。
移乗パッド　KQ-P714	プラットホームに取付けて使用します。
立位グリップ　KQ-P713	離床グリップ、離床パッドに取付けて使用します。
脚座カーペット（4枚セット）　KQ-P731	ゆか面をベッドの脚座から保護するために、脚座の下に敷いて使用します。※プラットホームを使用する場合は、脚座ゴムシートとベースゴムシートを使用してください。
脚座ゴムシート（4枚セット）　KQ-P732	ゆか面が滑りやすい場合にベッドの滑り止めとして、脚座の下に敷いて使用します。※プラットホームを使用する場合は、ベースゴムシートKQ-P716を併用してください。

1.背さげのしかた

起きあがりベッド

■楽匠～自立促進シリーズは、停電時やベッドの故障により背ボトムがさげられなくなった場合、手動で背ボトムをさげることができます。

■背さげ操作は、以下の手順で行ってください。停電以外の理由で背ボトムがさげられなくなった場合、59ページの「故障かな？と思ったら」に従ってチェックを行い、ベッドが故障している場合には、販売店もしくはパラテクノコールセンター（70ページ参照）までご連絡ください。

●作業は必ず2人以上で行ってください。
●手や腕をはさまないように注意して行ってください。

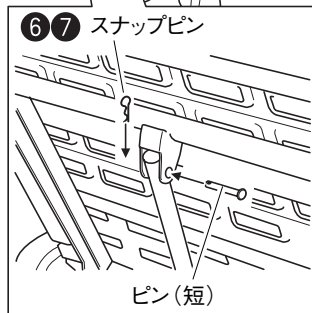
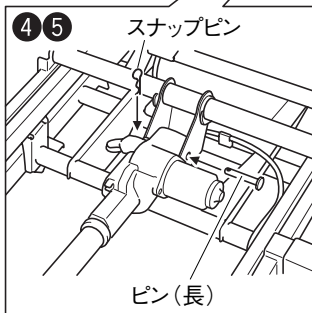
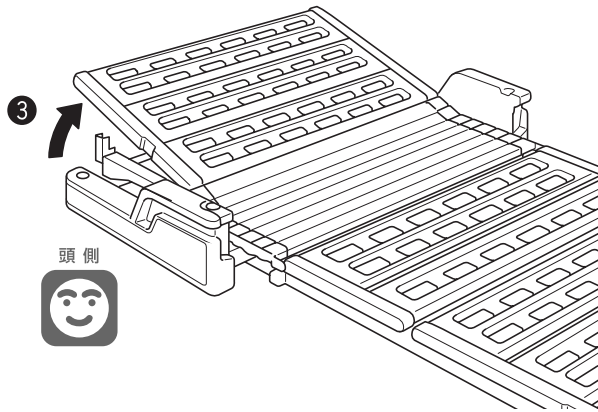
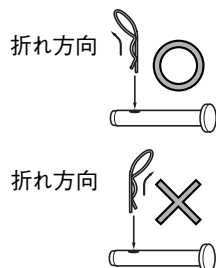
❼

❶コンセントからベッドの電源プラグを抜いてください。
❷療養している方と寝具をベッドから降ろしてください。
❸ヘッドボードを取外してください。（61ページ参照）
❹背ボトムと背アクチュエーターを押さえてください。
❺背アクチュエーター先端のスナップピンを抜いてピン（短）を取外してください。
❻背アクチュエーター本体のスナップピンを抜いてピン（長）を取外してください。
❼背アクチュエーターを図のようにしてゆかに置いてください。
❽背ボトムを降ろしてください。
❾ヘッドボードを取付けてください。（49ページ参照）

●外したピン（長）（短）およびスナップピンは復帰の際に使用します。紛失しないよう、保管してください。
●この作業を行ったときは、復帰作業を行ってもとの状態に戻すまで電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

14 手動による背さげ操作（停電・故障時などの対応）

2.戻しかた

起きあがりベッド

■停電の時には、電源が回復した後に、以下の手順でベッドを元の状態に戻し、50～53ページの「組立て後の点検」に従い点検を行ってください。

●作業は必ず2人以上で行ってください。

使用する部品	外したピン（長）、ピン（短）
	スナップピン2本

❶療養している方と寝具をベッドから降ろしてください。

❷ヘッドボードを取外してください。
（61ページ参照）

❸背ボトムを持ちあげ、支えてください。

❹背アクチュエーター本体をピン（長）で連結してください。

●背アクチュエーターは必ず図の向きで取付けてください。

❺ピン（長）の先端にスナップピンを差込んでください。

❻背アクチュエーター先端をピン（短）で連結してください。

❼ピン（短）の先端にスナップピンを差込んでください。

❽ベッドの電源プラグをコンセントに差込んでください。

❾手元スイッチを操作して背ボトムを一番下までさげてください。

❿ヘッドボードを取付けてください。
（49ページ参照）

■スナップピンの取付方向

折れ方向

折れ方向

■スナップピンの使い方

図の状態になるまで確実に差込んでください。

⚠ 警(けい) 告(こく)

■お手入れは電源プラグを抜いて行ってください。

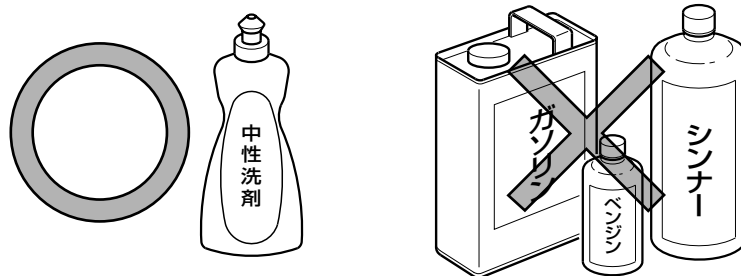
●誤操作によるはさまれを防止するため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■水をかけないでください。

●ベッドに水をかけて掃除しないでください。ショートして感電のおそれがあります。

■ベッド本体

●清拭する場合は、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭き、その後水で浸した布をよくしぼって残った洗剤分をふき取ってください。最後に乾いた布でふき取ってください。

※揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）は使用しないでください。

■オプション製品

●オプション製品に添付されている取扱説明書の指示に従ってください。

■マットレス

●使用状態や発汗の程度に応じて2週間～4週間に1回程度、ベッドから降ろし、風通しの良い日陰で干してください。マットレス内部の湿気を取り除くと快適にお使いいただけます。

※エバーフィットマットレスについては、取扱説明書の指示に従ってください。

16 故障かな？と思ったら

■故障でない場合もありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。
■チェックをしても正常に動作しない場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはパラテクノコールセンターまで修理をご依頼ください。
■地震・火災・水害等で被災したベッドは販売店またはパラテクノコールセンターに点検・修理をご依頼ください。漏電による感電や異常動作によってけがをするおそれがあります。
■エラーコードは、液晶タイプの手元スイッチのみ表示します。
■下記以外のエラーコードが表示される場合は、パラテクノコールセンター（70ページ参照）まで連絡してください。

手元スイッチの状態（症状）	電源ランプの点滅の早さ	エラーコード	チェック	処置
●手元スイッチの電源ランプが消えている。	―	―	●コンセントに電気がきていますか？	●コンセントに他の電気機器のプラグを差込んで、電気がきているかを確認してください。
			●電源プラグはコンセントに差込まれていますか？	●電源プラグをコンセントに差込んでください。
			●手元スイッチのコネクターが外れていませんか？	●手元スイッチのコネクターを、コントロールボックスの手元スイッチ差込部に確実に差込んでください。
●手元スイッチの電源ランプがボタンを押したときだけ点滅する。	遅い点滅（1秒毎）	U3、U4	●連続使用しましたか？（アクチュエーターが過熱すると、止まる可能性があります。）	●約20分放置して、アクチュエーターが冷えるのを待ってください。保護機能が働いたためで、故障ではありません。（完全に冷える前に操作をしますと、再度点滅状態になります。完全に冷えるまで放置してください。）
		U1	●可動部分に障害物はありませんか？	●障害物を取り除いてから、ベッド操作を行ってください。
	早い点滅（0.2秒毎）	H4	●アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	●アクチュエーターのコネクターを差しなおしてください。
●手元スイッチの電源ランプが点滅する。	遅い点滅（1秒毎）	U2	●ベッド上で電子治療器などを使用しませんでしたか？	●電子治療器などを使用する場合は、ベッドの電源プラグを抜いてからご使用ください。通信状態の異常を検知する保護機能が働いたためで、故障ではありません。

●修理のご依頼やお問い合わせの際は、製品識別表示ラベルに表示された番号もあわせてご連絡ください。

17 長期保管と移動(移設)について

保　　管

■長期にわたりベッドをご使用にならないときは、下記の点にご注意ください。
●高温・多湿・ほこりの多い場所を避けてください。温度－10℃～50℃、湿度30～90％RHの環境で保管してください。
●取扱説明書を紛失しないよう、いつでも見られる場所に保管してください。

1.組みあがった状態でベッドを保管する場合
●背ボトムを水平にしてください。
●ベッドの高さを最低位置までさげてください。
●ベッドの上にはマットレス以外のものをのせないでください。
●マットレスの上には何ものせないでください。
●ベッドは壁に立て掛けたりせず、ゆかに水平のまま保管してください。
●電源プラグをコンセントから抜いて、はさんだり踏んだりしない場所に束ねておいてください。

2.分解して保管する場合
(ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。)
●61～68ページの分解の手順に従って行ってください。
※使用を再開する場合は、使用前に50～53ページの手順に従って点検を行ってください。

移動（移設）

1.組みあがった状態でベッドを移動（移設）させる場合
●背や腰を痛めないよう、少なくとも4人で運んでください。
●ベッドで療養している方、寝具、マットレス、オプション（サイドレール、スマートグリップなど）は降ろしてください。
●アクセサリー枠を持って移動させてください。
●手元スイッチ、電源コード、電源プラグを破損、キズから守るため束ねてベッド本体に固定して運んでください。

2.分解して移動（移設）させる場合
(ベッドの分解は販売店にご依頼されることをお勧めします。)
●61～68ページの分解の手順に従って行ってください。
※使用を再開する場合は、使用前に50～53ページの手順に従って点検を行ってください。

販売店に依頼することをお勧めしますが、ご自分で行う場合は以下の手順に従ってください。

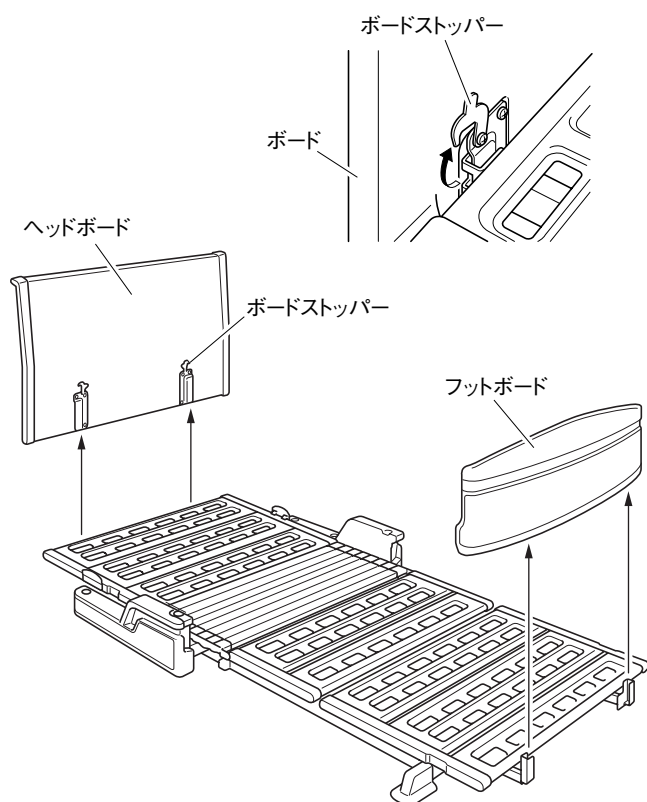
1.オプション・寝具の取外し

❶ベッドのオプション（サイドレール、スマートグリップなど）をベッドから取外してください。
❷寝具をベッドから降ろしてください。
❸マットレスをベッドから降ろしてください。

2.手元スイッチの操作

❶電源プラグをコンセントに差込んでください。
❷さげるボタン をを押して全てさげてください。
❸電源プラグをコンセントから抜いてください。

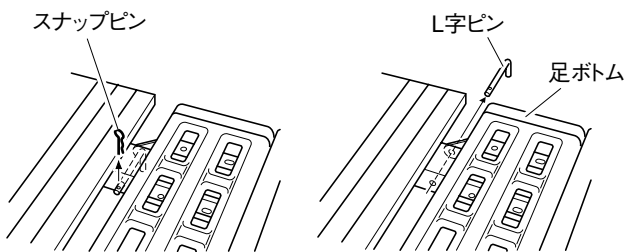
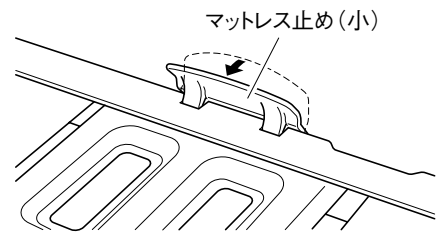
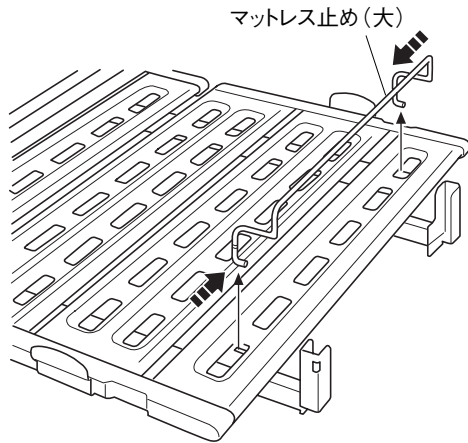
3.ヘッドボード・フットボードの取外し

❶ヘッドボード左右のボードストッパーを外してください。
❷ヘッドボードを真上に持ちあげ、取外してください。
❸フットボード左右のボードストッパーを外してください。
❹フットボードを真上に持ちあげ、取外してください

⚠ 警告	●立ちあがりベッドの場合は、必ずベッドの高さをさげた状態でベッドの分解を行ってください。ベッドがあがった状態で分解しますと、部品の落下などで思わぬけがや故障をするおそれがあります。

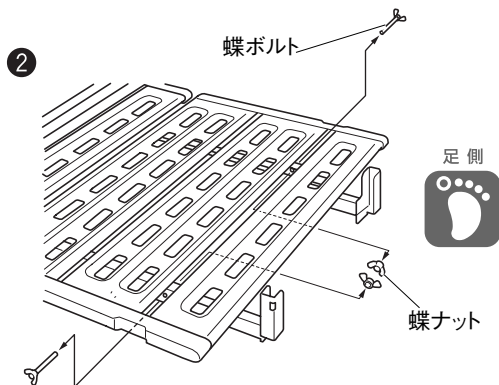
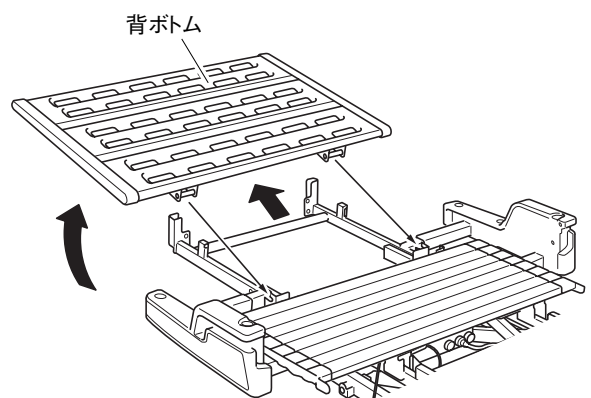
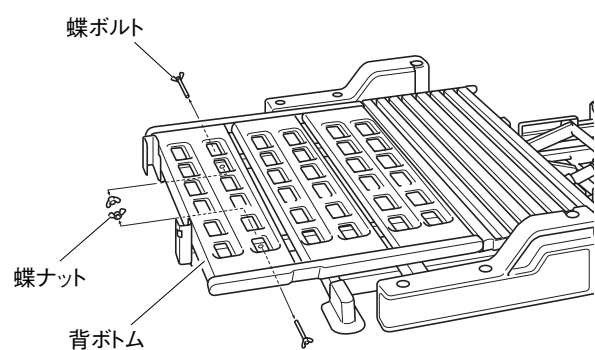
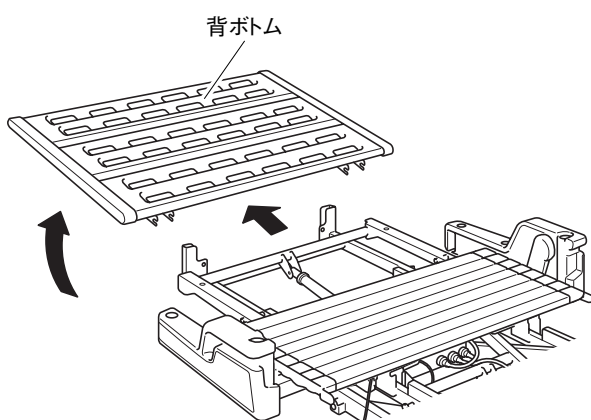
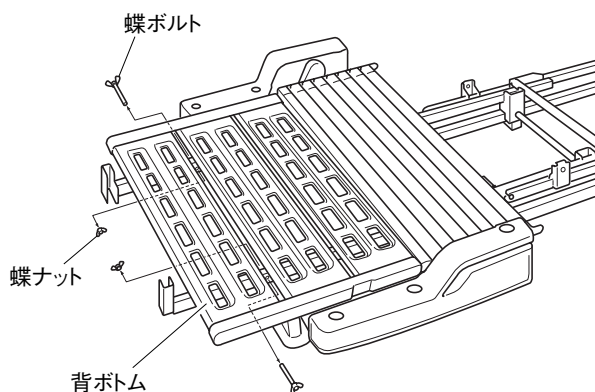
4.マットレス止めの取外し

❶マットレス止め（大）の先端を内側に押しながら真上に持ちあげ、溝部と足ボトムの角穴を外してください。

❷マットレス止め(小)を内側に倒してください。

❸マットレス止め（小）を真上に持ち上げ、取外してください。（背ボトム、足ボトム左右各1カ所）

5.足ボトムの取外し

❶スナップピンを抜いて、L字ピンを取外してください。（左右各1カ所）

●取外したL字ピン・スナップピンは紛失しないように保管してください。

❷足ボトム裏の蝶ナットを取外し、蝶ボルトを引いて取外してください。（左右各1カ所）

●取外した蝶ボルト・蝶ナットは紛失しないように保管してください。

❸足ボトムを取外してください。

6.背ボトムの取外し

起きあがりベッド

❶背ボトムの裏の蝶ナットを取外し、蝶ボルトを引いて取外してください。
（左右各1カ所）

●**取外した蝶ボルト・蝶ナットは紛失しないように保管してください。**

背ボトム

❷背ボトムを持ちあげ、リトラフレームのボスから抜いてください。

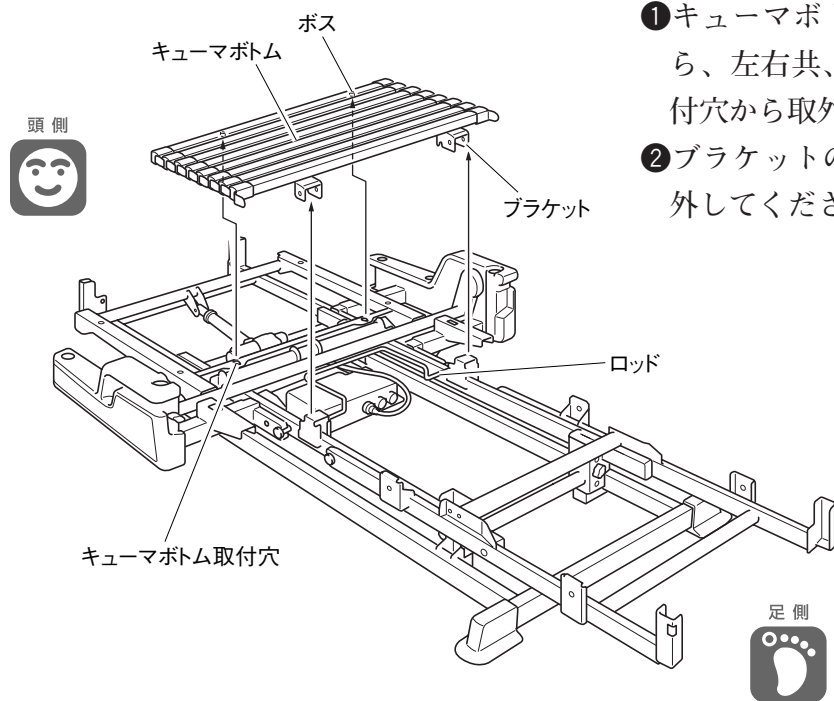
たかさ

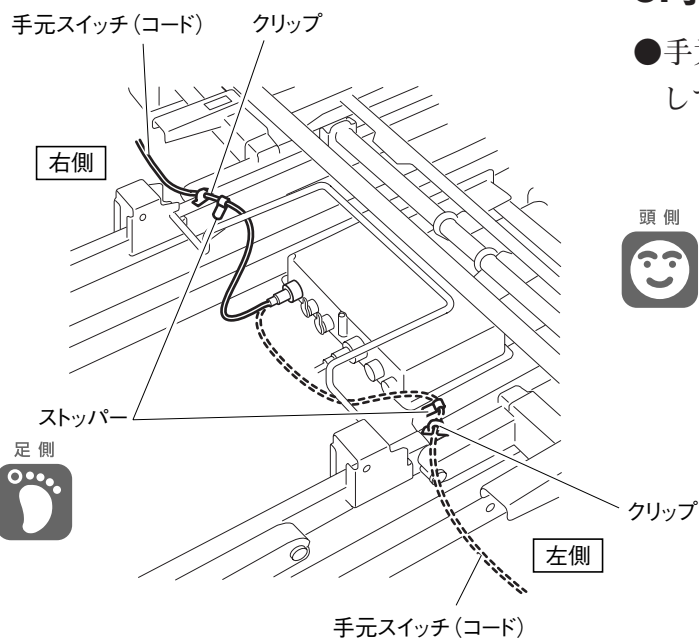
立ちあがりベッド

❶背ボトムの裏の蝶ナットを取外し、蝶ボルトを引いて取外してください。（左右各1カ所）

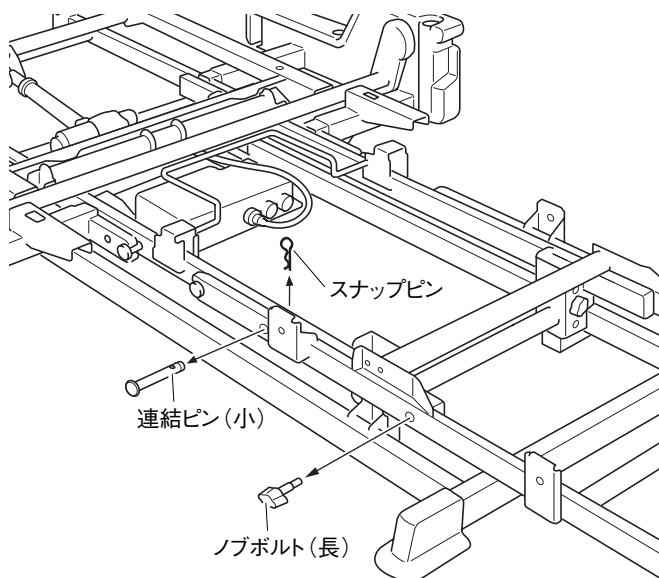
●**取外した蝶ボルト・蝶ナットは紛失しないように保管してください。**

❷背ボトムを持ちあげ、頭側アクセサリー枠の欠きから抜いてください。

起きあがりベッドで説明しています

7.キューマボトムの取外し

❶キューマボトムをベッドの頭側に引きながら、左右共、ボスを頭側キューマボトム取付穴から取外してください。
❷ブラケットの溝を、左右共、ロッドから取外してください。

8.手元スイッチの取外し

●手元スイッチのコードをクリップから取外してください。

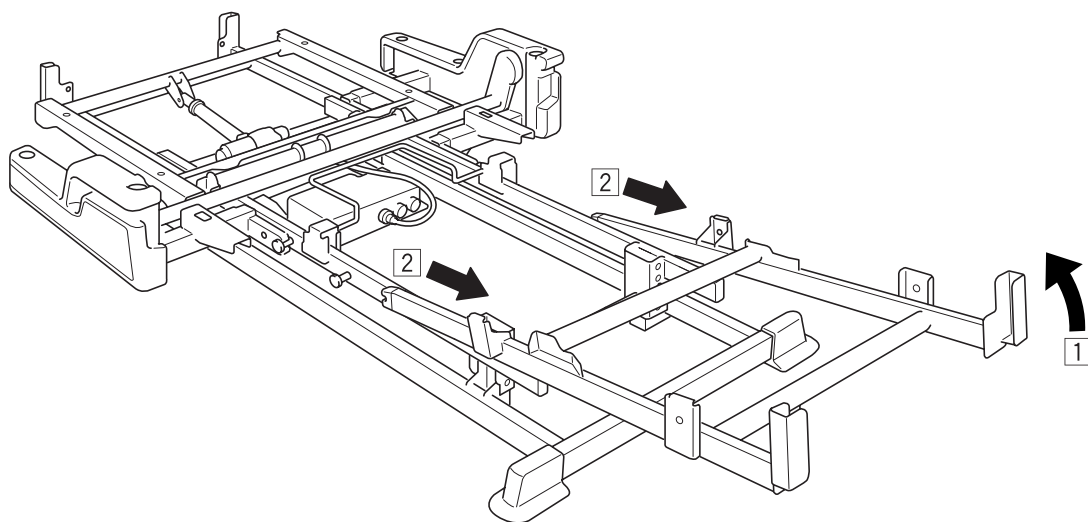
起きあがりベッドで説明しています

9.足側アクセサリー枠の取外し

❶足側アクセサリー枠を固定しているノブボルト（長）を、取外してください。
（左右各1カ所）

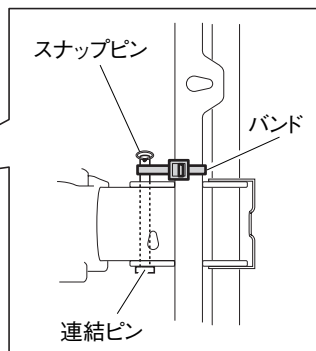
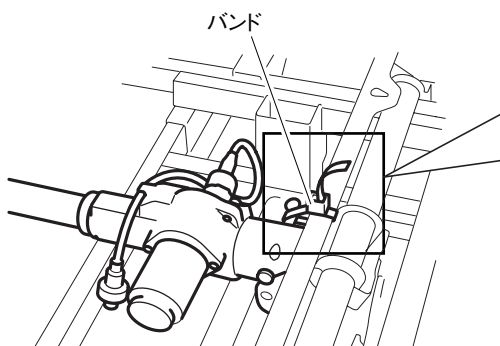
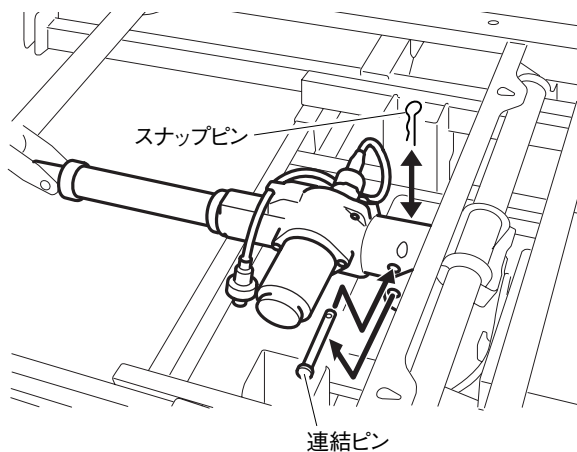
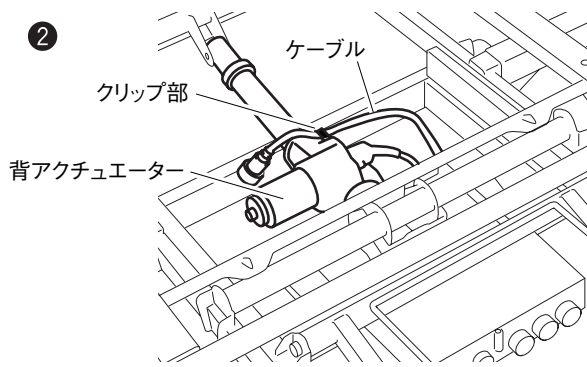
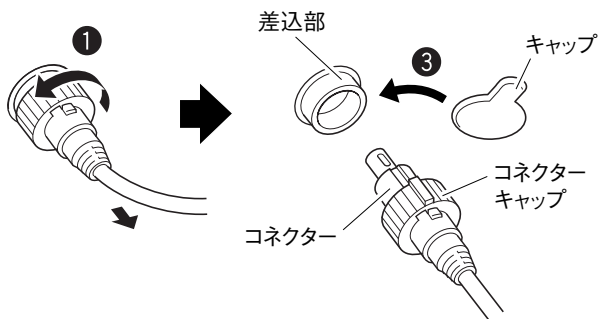
●取外したノブボルト（長）は紛失しないように保管してください。

❷スナップピンを抜いて足側アクセサリー枠を連結している連結ピン（小）を取外してください。
（左右各1カ所）

●取外した連結ピン（小）、スナップピンは紛失しないように保管してください。

❸足側アクセサリー枠を取外してください。

1 2の順序で取外してください。

10.背アクチュエーターの取外し

あたま　起きあがりベッド

❶背アクチュエーターのコネクターキャップを左側へ回して引抜き、背アクチュエーター側へ引出してください。

❷背アクチュエーターのケーブルを背アクチュエーターのクリップ部に固定してください。

❸組立ての際に取外したキャップを、コントロールボックスの背アクチュエーター差込み部（青色）に差込んでください。

注記！

●コントロールボックスの保護のため、キャップは必ず差込んでください。

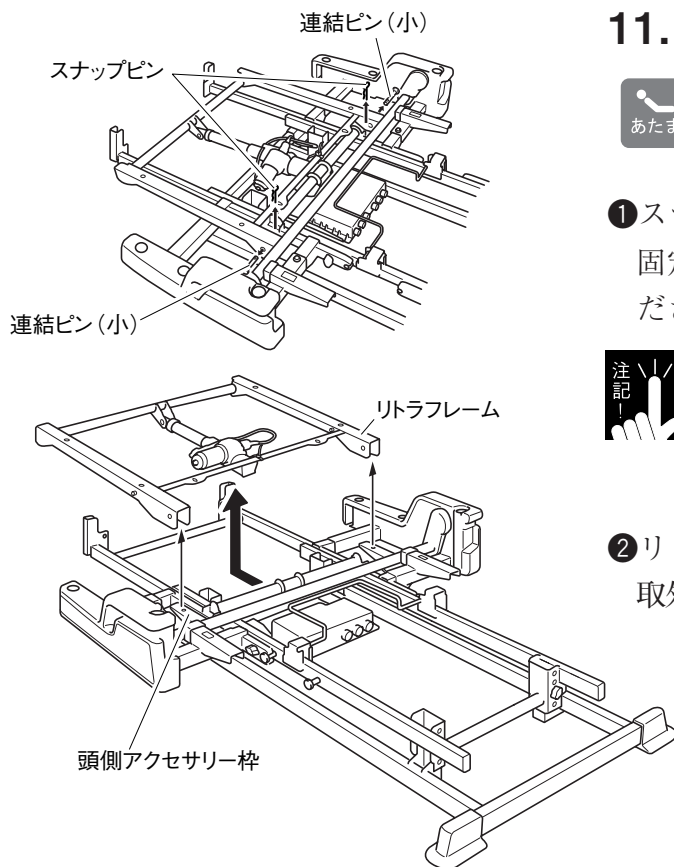
❹背アクチュエーター本体のスナップピンを抜いて連結ピンを取外してください。

❺取外した連結ピン、スナップピンを背アクチュエーターに戻し、図のようにバンドで固定します。

注記！

●背アクチュエーターを取外す際、しっかり支えて、ゆか等に落とさないよう注意してください。

11.リトラフレームの取外し

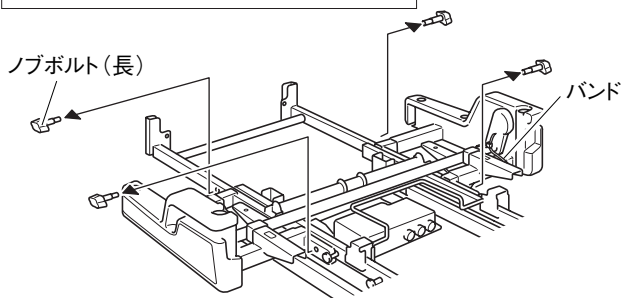
あたま　起きあがりベッド

❶スナップピンを抜いて、リトラフレームを固定している連結ピン（小）を取外してください。（左右各1カ所）

●**取外した連結ピン（小）、スナップピンは紛失しないように保管してください。**

❷リトラフレームを頭側アクセサリー枠から取外してください。

起きあがりベッドで説明しています

ノブボルト（長）

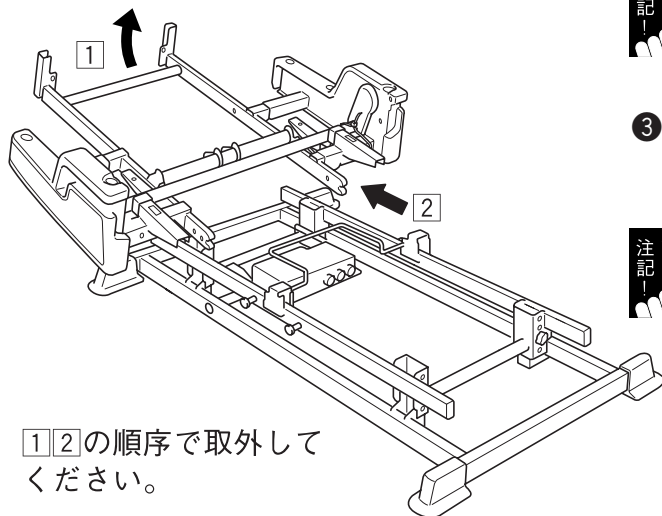
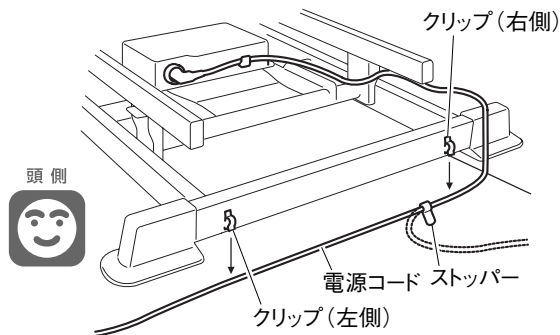
バンド

12.頭側アクセサリー枠の取外し

❶起きあがりベッドの場合、背あげリンクをバンドで固定してください。

❷頭側アクセサリー枠を固定しているノブボルト（長）を取外してください。（左右各2カ所）

●**取外したノブボルト（長）は紛失しないように保管してください。**

❸頭側アクセサリー枠を駆動部または上側ベースフレームから取外してください。

●**アクセサリー枠を取外す際、しっかり支えて、ゆか等に落とさないよう注意してください。**

13.電源コードの取外し

立ちあがりベッド

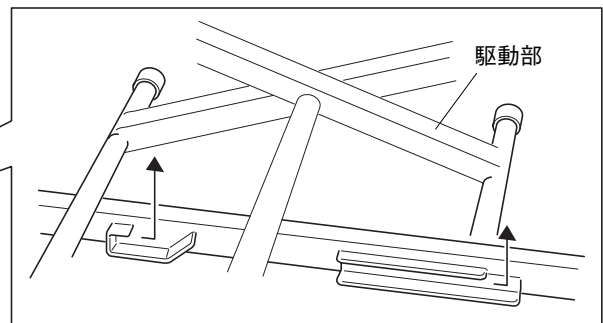
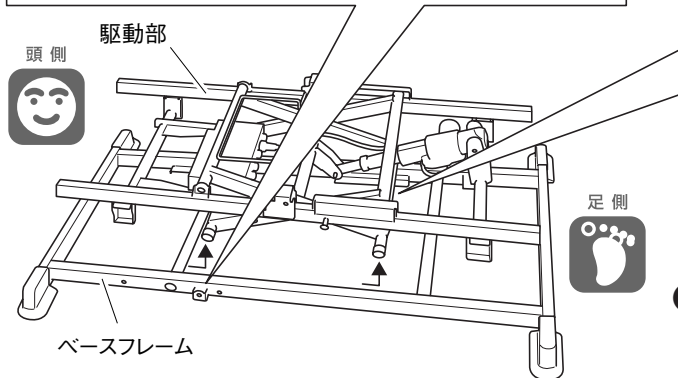
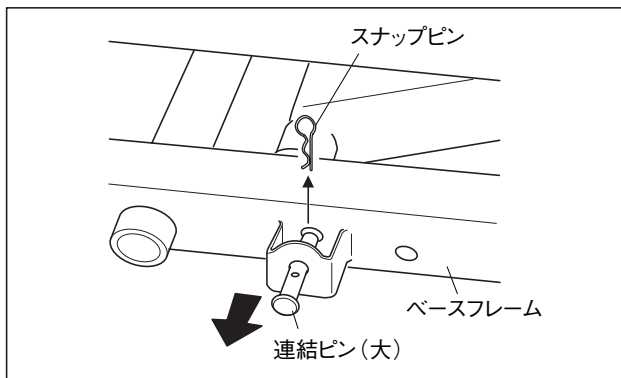
●クリップ（左側・右側）から電源コードを取外してください。

14.駆動部の取外し

たかさ

立ちあがりベッド

❶スナップピンを抜いて駆動部とベースフレームを連結している連結ピン（大）を取外してください。（左右各1カ所）

●取外した連結ピン（大）、スナップピンは紛失しないように保管してください。

❷駆動部を足側にスライドさせ、真上に持上げて取外してください。

15.付属部品と分解したユニットの保管

■付属品、組付部品、その他部品の保管

ベッドを分解した後、本取扱説明書および組立付属部品、その他の部品を袋などに入れて一緒に保管してください。

●起きあがりベッドはコントロールボックスの背アクチュエーター差込み部（青色）にキャップを取付けた状態で保管してください。

●梱包するときは、取扱説明書、付属品などが梱包されていることを見やすい所に明記しておくと後日、開梱するときに便利です。

●ボードを重ねるときは、金具でボードが傷つかないようにあてものをしてください。

●キューマボトムは逆に曲げないように取扱ってください。

1.保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

日付の記入が無い場合は、ベッドお買い上げの領収書を保証書と一緒に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

取扱説明書の「16.故障かな？と思ったら」(59ページ) にしたがって調べてください。それでも直らないときは、ベッドの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または弊社製品の修理窓口である、パラテクノコールセンター (70ページ参照) にご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

●品名、品番、製品識別表示ラベルの番号（ラベルの貼付位置は27〜31ページ参照）

●お買い上げ日

●故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

●お名前、ご住所および電話番号

保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。
ただし保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間がすぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3.部品の最低保有年数は

弊社では、ベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後6年としております。

4.アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げ販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問合せください。

コールセンター 0120-54-8639
受付時間　平日9：00〜17：20（土・日・祝日・夏季休業・年末年始休業を除く）

○パラテクノ株式会社について
弊社製品の修理や保守点検等の各種サービスを実施する、弊社100%出資の会社です。

本社	〒136-8670	東京都江東区東砂2丁目14番5号 東京営業部	☎(03)3648-1171(代)
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南2条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181(代)
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町2丁目3番地の3	☎(022)239-5211(代)
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合9丁目4番7号	☎(048)852-0707(代)
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間1715番地1	☎(042)795-8800(代)
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉1丁目20番17号	☎(052)963-0600(代)
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀2丁目3番33号	☎(06)6443-8791(代)
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町3丁目8番5号	☎(082)293-1311(代)
高松支店	〒761-8031	高松市郷東町223番1	☎(087)881-8800(代)
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号	☎(092)461-1131(代)